

けっぱれ!

精神保健看護

今こそ
開拓
のとき



日本精神保健看護学会 第36回学術集会・総会

日程

2026年7月18日(土)・19日(日)

会場

札幌市教育文化会館

札幌市中央区北1条西13丁目

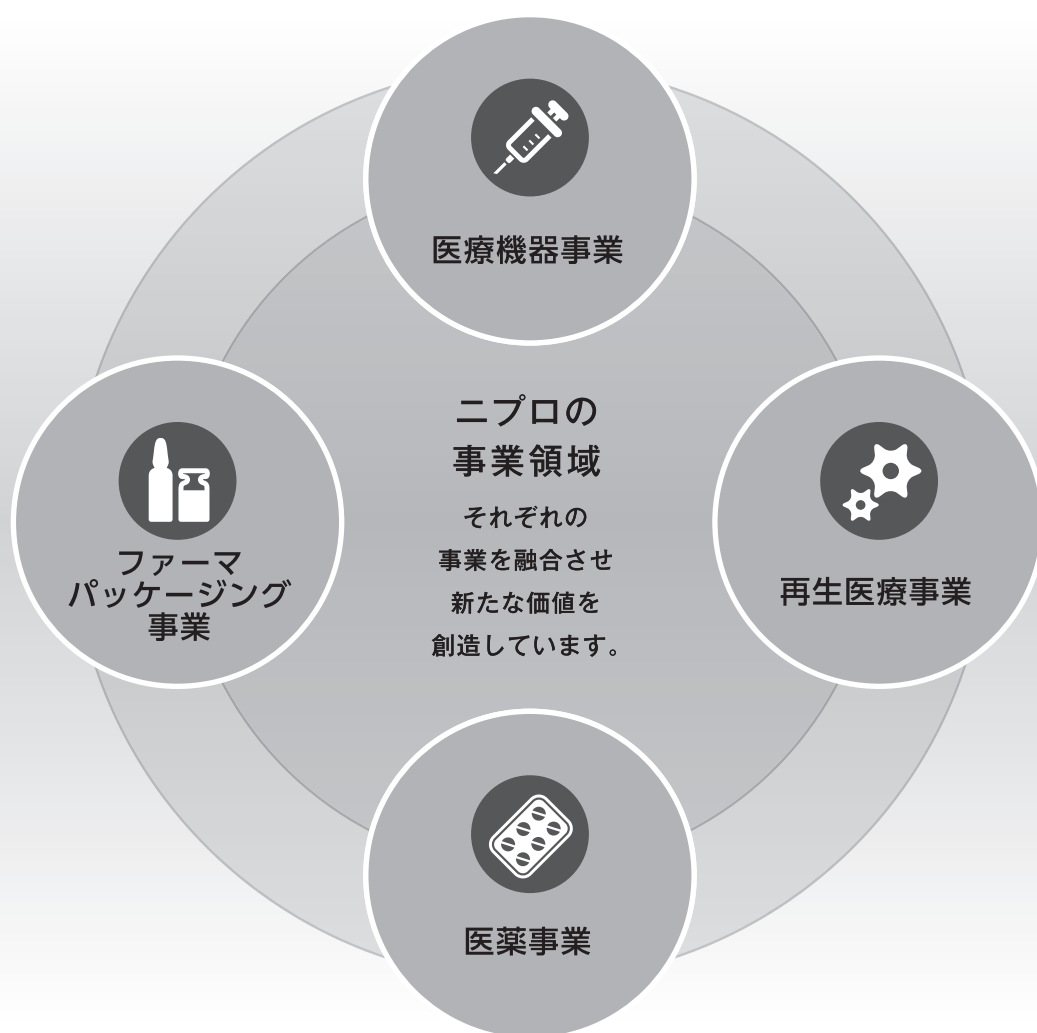
プログラム・抄録集



<https://ec-mice.com/japmhn36th/>

すべてのいのちに、よろこびを。

私たちは、これからも大切な「健康」を支える製品と技術を提供し
世界中の人々の豊かな暮らしを支えていきます。



(資料請求先)

ニプロ株式会社

大阪府摂津市千里丘新町3番26号
<https://www.nipro.co.jp/>

医療機器についてのお問い合わせ
(医療機器情報室)

☎ 0120-226-410

医薬品についてのお問い合わせ
(医薬品情報室)

☎ 0120-226-898

行動制限最小化看護 実践マネジメントガイドブック

「しない」をあたり前にする支援と組織のつくり方

●一般社団法人日本精神科看護協会＝編集 ISBN978-4-8243-0490-2
●定価 2,860 円(税込) ●B5 判・約 220 頁 ●2026 年 6 月発行予定

隔離や身体的拘束の最小化を実現するために、必須の知識から効果的なケア手法までを網羅した一冊。

ナースのための ハラスメントのない職場のつくりかた

カスハラ・ペイハラ どう防ぎ、どう対応する？

●濱田安岐子、富田美奈子＝編著 ISBN978-4-8243-0471-1
●定価 2,860 円(税込) ●A5 判・192 頁 ●2026 年 7 月発行予定

カスハラ、パワハラ、セクハラなど全事案を網羅し、医療現場特有のリスク、グレーゾーンの判断基準、対応の流れ等を解説。

はじめての 精神科訪問看護

おさえておきたい実務のポイント

●吉川隆博、原子英樹、岩崎寛人＝編著 ISBN978-4-8243-0300-4
●定価 2,640 円(税込) ●A5 判・234 頁 ●2025 年 9 月発行

初めて精神科訪問看護に携わる看護師等に向けて、サービスを提供するうえでおさえておきたい視点、実務のポイントをわかりやすく解説。

「何となく」のかかわりを「根拠ある」ケアに変える！ 見直そう！ 精神科の「なぞルール」

●中村 創＝著 ISBN978-4-8243-0489-6
●定価 2,420 円(税込) ●A5 判・約 160 頁 ●2026 年 7 月発行予定

根拠があいまいな規則・慣習（＝なぞルール）の背景を丁寧にひも解き、本人の回復を助けるケア実践のためのヒントを提示する。

対話の実践力

ケアを極める聞き方・話し方

●小瀬古伸幸＝著 ISBN978-4-8243-0299-1
●定価 1,760 円(税込) ●A5 判・138 頁 ●2025 年 9 月発行

対人援助において対話を開く際に大切なことを「3つの原則」「5つの型」に集約し、事例を用いて超実践的に解説。

子どもの語りからわかる 精神疾患のある親をもつ 子どもの支援

●田野中恭子＝著 ISBN978-4-8243-0286-1
●定価 2,750 円(税込) ●A5 判・224 頁 ●2025 年 6 月発行

著者の調査で得られた「子どもの語り」をもとに、子どもたちの困難な状況や実態を明らかにし、支援方法を具体的に解説。



中央法規
Chuohoki Publishing Co., Ltd.

〒110-0016 東京都台東区台東3-29-1

TEL.03-6387-3196(代表)

<https://www.chuohoki.co.jp/>

地域に根ざした、こころの医療と福祉を。

理事長：森 一也 院長：宇佐見 誠

診療科：精神科・内科・心療内科・歯科

病床数：450床(精神科救急・認知症治療・精神療養・精神一般病棟)



医療法人五風会
さっぽろ香雪病院



医療法人五風会

さっぽろ香雪病院

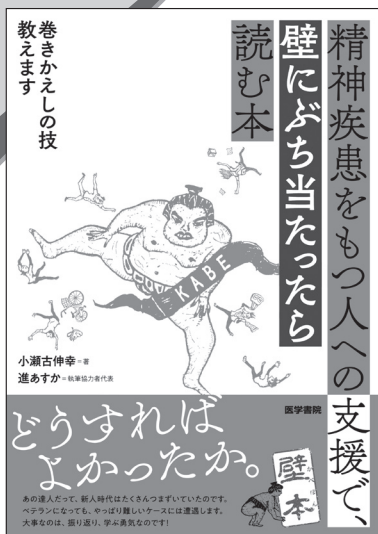


病院情報はこちら



採用情報はこちら

そんな考え方があったんだ！地域の困難事例に「あんな手・こんな手」を提案。



精神疾患をもつ人への支援で、壁にぶち当たったら読む本

巻きかえしの技教えます

著 小瀬古伸幸／執筆協力者代表 進あすか

どうすればよかったか——。あの達人だって、新人時代はたくさんつまずいていたのです。ベテランになっても、やっぱり難しいケースには遭遇します。大事なのは、振り返り、学ぶ勇氣なのです！本書では著者とその同僚が、自分たちがつまずき苦戦してきた事例を（恥をしのいで）公開します。そして「今ならこうやって巻きかえす」という考察・提案を記します。地域で支援・ケアを提供する人に必携の書「壁本」があなたの孤独を癒します。

●B5 頁184 2025年 定価：2,310円（本体2,100円+税10%）[ISBN978-4-260-06218-3]



医学書院

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 [WEBサイト]<https://www.igaku-shoin.co.jp>
[販売・PR部] TEL:03-3817-5650 FAX:03-3815-7804 E-mail:sd@igaku-shoin.co.jp

■看護教育シリーズ

シミュレーションで身につける精神看護技術



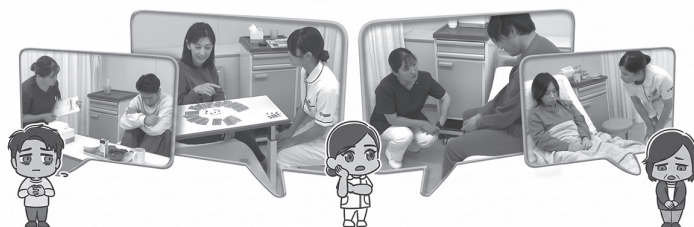
この番組は、精神看護のコミュニケーションや治療的な関わり（介入・援助）を「精神看護技術」として解説しております。実習の事例動画を見ることで、患者への不適切な対応を指摘できる視点を養うこと。また学生の適切な対応を見て、自分なりのより良い看護実践を考察する視点を養うこと。そして実際に本動画教材の事例を用いて演習（ロールプレイ）を行うことで、シミュレーション教育としてコミュニケーションスキルなどの精神看護技術を修得することを目的としています。さらに課題や演習時の評価などの付属資料がついているため、精神看護学の演習を深めることができます。



●全2巻 ■DVD 各巻価格 ¥28,000（税込 ¥30,800）
■e-video 同時1アクセス 各巻価格 ¥30,800（税込 ¥33,880）



■原案監修：守村 洋 札幌市立大学 看護学部 准教授



VOL.1 うつ病

49分



うつ病の危険要因
実習中のうつ病患者との関係構築や希死念慮への対応について、コミュニケーションスキルの一例を解説しています。学生の患者への不適切な対応を映像で見ることによって、適切な関わりを考えることができます。

VOL.2 統合失調症

43分



拒否傾向の強い統合失調症患者や体感幻覚への対応について、介入や援助の方法（治療的関わり）の一例を解説しています。学生の患者への不適切な対応を映像で見ることによって、適切な関わりを考えることができます。

©2024

制作著作



株式会社 医学映像教育センター <https://www.igakueizou.co.jp>

本社 / 〒168-0074 東京都杉並区上高井戸1-8-17 プライコアビル本館4F
TEL:03-3329-1241 FAX:03-3303-1434



WEB試写の申し込みはコチラ！

まずは、「内容確認・検討」として
試写サービス(無料)をご利用ください！
お問い合わせ ■0120-377-189
【フリーコール】

2027年4月 手稲駅前に新キャンパス誕生 北科大初の文系学部新設



情報科学部 経営情報学科（設置届出済）※
地域創造学部 地域創造学科（認可申請中）※

※学部学科名称を含めて予定であり、計画変更の可能性があります。

■工学部 機械工学科 / 電気電子工学科 / 建築学科 / 都市環境学科
■情報科学部 情報科学科
■薬学部 薬学科
■保健医療学部 看護学科 / 理学療法学科 / 臨床工学科 / 診療放射線学科
■未来デザイン学部 メディアデザイン学科



北海道科学大学

〒006-8585 北海道札幌市手稲区前田7条15丁目4-1
入試広報課 ☎0120-248-059
TEL: 011-688-2381 FAX: 011-688-2392
HP: <https://www.hus.ac.jp/entrance>

北海道科学大学
北海道科学大学高等学校
北海道自動車学校

メヂカルフレンド社 お薦め書籍

新体系看護学全書 全75巻

精神看護学①
精神看護学概論／精神保健

◎284頁(予) ◎ISBN/定価 未定

■編著

渡邊 博幸 千葉大学社会精神保健教育研究センター特任教授
石川かおり 岐阜県立看護大学教授
松岡 純子 甲南女子大学看護リハビリテーション学部教授

2027年度改訂!



精神看護学②
精神障害をもつ人の看護

◎488頁(予) ◎ISBN/定価 未定

■編著

渡邊 博幸 千葉大学社会精神保健教育研究センター特任教授
石川かおり 岐阜県立看護大学教授
松岡 純子 甲南女子大学看護リハビリテーション学部教授

2027年度改訂!



✓おすすめポイント

- 構成を見直し、精神疾患・精神看護の概観から発展までを、より系統立てて学べるようになりました。
- 全体の記述をアップデートし、疾患の治療にとどまらない、「パーソナルリカバリー」をより重視した内容となっています。

✓おすすめポイント

- 概念的で理解しにくい精神分野を、より充実した図表・イラストにより、視覚的にとらえられるようになりました。
- 最新のDSM-5-TRに準拠した記述で、精神疾患の最前線を学べます。

看護実践のための根拠がわかる

精神看護技術

◎348頁

◎ISBN 978-4-8392-1696-2

◎定価 3,850円(本体3,500円+税)

■編著

山本 勝則 札幌保健医療大学教授
守村 洋 札幌市立大学看護学部准教授

✓動画一覧

- ・精神看護学シミュレーション教育
- ・躁状態における興奮時の援助
- ・無為、自閉な患者のセルフケア不足への援助
- ・アルコール依存症患者に対する援助
- ・自殺念慮のあるうつ病患者への援助 等

✓おすすめポイント

- 各症状を患者との対応技術からわかりやすく解説しています。
- 日常生活援助技術では、セルフケアレベルの向上を目指した援助を紹介。
- シミュレーション用のシナリオと、演習動画を収録。



株式会社
メヂカルフレンド社

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-4

マーケティング部 TEL (03) 3263-7666 FAX (03) 3261-6602



なんとかしたい。
だから、挑む。

人類の歴史にはさまざまな挑戦者がいた。
どんなに失敗しても、彼らの熱意や想いが
何度も立ち上がらせ、その結果、常識を
打ち破り新しい世界を見せてくれた。

医薬はどうだ。

世界一高い山に登り、宇宙や深海を探索
できる時代に、私たちの体の中には未解決
の課題が山積している。

私たちにはやるべきことがある。

助けなければならない人がいる。

だから、挑む。住友ファーマ

 **Sumitomo Pharma**
Innovation today, healthier tomorrows



stryker

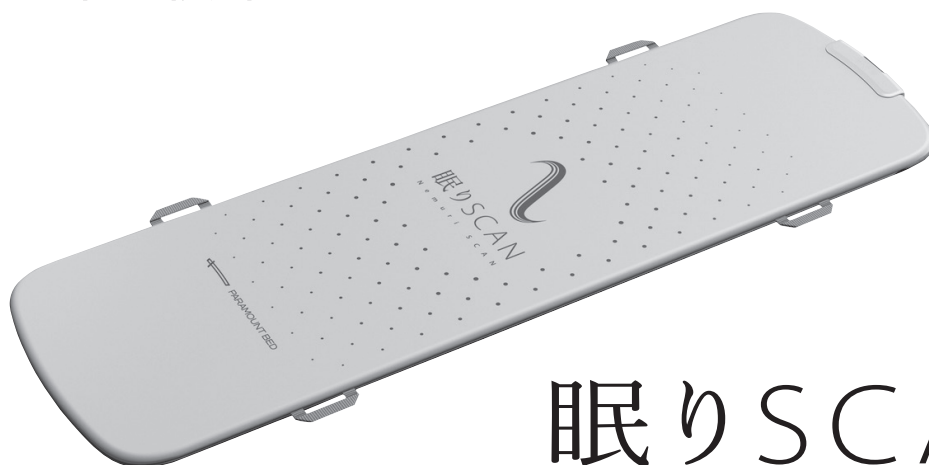
Innovating
as **One**

日本ストライカー株式会社
160-0023 東京都新宿区西新宿 5-1-1 新宿ファーストタワー
P 03 6894 0000
www.stryker.com/jp

マットレスの下に敷くだけで睡眠・覚醒リズムの測定、
起きあがりや離床を検知できます。

非装着型

無線LAN対応
(NN-1530のみ)



眠りSCAN

N e m u r i S C A N

測定データをパソコンの画面でグラフィカルに表示する専用ソフトウェアをご用意しています。

眠りSCAN(NN-1530)一般医療機器 届出番号12B1X10020000130

眠りSCAN(NN-1130)一般医療機器 届出番号12B1X10020000129

日本精神保健看護学会 第36回学術集会・総会

「けっぱれ！精神保健看護 今こそ開拓のとき」

会 期 2026年7月18日(土)・19日(日)

会 場 札幌市教育文化会館
(北海道札幌市中央区北1条西13丁目7)

大会長 守村 洋(札幌市立大学看護学部)

後援

札幌市
社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会
NPO 法人 札幌市精神障害者家族連合会
一般社団法人 日本精神科看護協会
一般社団法人 日本精神科看護協会北海道支部
公益社団法人 日本精神科病院協会
北海道
公益社団法人 北海道看護協会
公益社団法人 北海道作業療法士会

社会福祉法人 北海道社会福祉協議会
北海道精神科病院協会
一般社団法人 北海道精神障害者家族連合会
一般社団法人 北海道精神神経科診療所協会
北海道精神保健協会
一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会
一般社団法人 北海道ピアサポート協会
一般社団法人 北海道臨床心理士会

(五十音順)

日本精神保健看護学会第36回学術集会・総会の開催にあたって

日本精神保健看護学会第36回学術集会

会長 守村 洋

(札幌市立大学)

この度、日本精神保健看護学会第36回学術集会・総会を北海道札幌市で開催することになりました。北海道での開催は、第15回「変容する精神保健問題への看護職のチャレンジ」(2005年)、第27回「“語り”の後の精神保健看護を語り合う」(2017年)に続き、今回で3回目となります。

精神疾患やそれに関連するメンタルヘルスの問題、さらに地震や洪水などの自然災害や非人道的な虐待等と表裏の関係にあるメンタルヘルスの問題は、昨今の社会において喫緊の課題となっております。私たち精神保健看護に携わる者として放っておくことはできません。このような時代だからこそ、自分自身も含めて頑張ろうとエールを送りたく、大会テーマを「けっぱれ！精神保健看護 ～今こそ開拓のとき～」としました。“けっぱれ”とは北海道弁で「頑張れ」という意味になります。北海道は約150年前に屯田兵により開拓された歴史の浅い土地です。改めて精神保健看護を拓き、全ての人に“けっぱれ”を届けられると考えております。

学術集会では多くの演題をエントリーしていただき、ワークショップ35件、一般演題141件は、ここ数年で最大規模となりました。また、大会テーマ「けっぱれ！精神保健看護 ～今こそ開拓のとき～」に関連するプログラムを多数準備いたしました。そして、精神保健および福祉の普及啓発活動の一環として、札幌市内の障害福祉サービス事業所に、ランチョンセミナーのお弁当準備に協力していただいております。さらに地域で働く障がいのある方々と市民および学術集会参加者が自然な交流を行う機会を目的としたイベント「～こころつながる～けっぱれマルシェ」も開催いたします。

開催時期は日本列島どこも猛暑あるいは酷暑の時期となりますが、開催地札幌市はとても快適な避暑地となります。また、北海道グルメである美食は敢えて説明の必要はありません。ぜひ多くの皆さまにご参加いただき、こころと身体をリフレッシュし、アカデミックな交流とディスカッションができることを期待しております。

多くの方がご参加されることを楽しみにお待ちしております。

目次

学術集会大会長挨拶	1
目次	2
参加者へのご案内	3
座長・発表者へのご案内	10
交通案内	13
会場案内図（フロアマップ）	14
日程表	16
プログラム	20
メインプログラム	20
ワークショップ	24
一般演題 口演	32
一般演題 示説（ポスターセッション）	41
日本精神保健看護学会学術集会 企画一覧	50
一般社団法人日本精神保健看護学会 第7期役員	54
一般社団法人日本精神保健看護学会 第5期代議員	55
日本精神保健看護学会 第36回学術集会・総会 企画委員・実行委員・事務局名簿	56
日本精神保健看護学会 第36回学術集会・総会 後援	58
日本精神保健看護学会 第36回学術集会・総会 協賛企業・団体一覧	59

参加者へのご案内

1. 参加受付について

1) 受付時間・場所

日時	受付時間	受付場所
7月18日（土）	9：15～17：00	札幌市教育文化会館 1階 大ホールホワイエ
7月19日（日）	9：00～16：00	

- ・本学術集会の参加登録は WEB 上の [参加登録フォーム](#)で行います。当日の受付へのお立ち寄りは不要です。
- ・参加登録でお支払いが完了時に自動送信される内容確認メールにてネームプレート・領収書がダウンロード可能となります。また、参加証明書は学術集会終了後にダウンロードが可能となります。
- ・ネームプレートは事前に各自ダウンロード、プリントアウトしてご準備ください。1階大ホールホワイエの受付記名台に設置のネームカードホルダーに入れ、会場内では常に携帯してください。なお、ネームプレートの事前印刷が難しい場合には、総合受付にお越しください。
- ・学会当日も WEB での参加登録を継続しておりますが、クレジット決済が難しい方は当日総合受付にて現金でお支払いください。
- ・病院寄付特典でご参加の場合は別途お送りする案内をご参照してください。

2) 懇親会について

7月18日（土）	18：50～20：20	6,000円（税込）	北海道庁舎旧本庁舎（赤れんが庁舎） ホール A・ホール B
----------	-------------	------------	----------------------------------

- ・懇親会については、[懇親会参加登録](#)よりお申込ください。当日空きがある場合のみ、総合受付にて、当日受付をいたします。なお、その際は現金支払いのみとなります。

◎北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）ホール A・ホール B

住所 札幌市中央区北3条西6丁目1番地

Tel：011-206-8390

公式サイト：<https://www.hokkaido-redbrick.jp/>

2. クロークの利用について

- ・クローク（1階大ホールホワイエ奥）にて手荷物をお預かりいたします。お荷物は出来る限りまとめていただきますようご協力をお願いいたします。なお、貴重品などはお預かりできません。
- ・保管の責任は主催者では負いかねますので、あらかじめご了承ください。

クローク場所	7月18日（土）	7月19日（日）
1階 大ホールホワイエ奥	9：15～18：00	9：00～17：10

3. ワークショップについて

1) WEB から事前参加申込をされた場合

- ・開催時刻前になりましたら、各ワークショップ会場にお越しください。その際に、申込み時に自動返信メールとして届いたワークショップ参加登録確認メールをご提示ください。
- ・なお、開始時間から5分を過ぎてもご来場されない場合は、キャンセルとみなされますことをご了承ください。

2) 当日参加受付について

- ・対象は満席に達していないワークショップです。初日に1階小ホールホワイエ「WS 当日参加受付」前で残数を掲示します。
- ・ワークショップ当日申し込みは、7月18日（土）9：15～14：30、7月19日（日）9：00～14：00の間に受け付けます。各WSの開始30分前までに、1階小ホールホワイエ「WS 当日参加受付」にてお申込みください。
- ・「WS 当日参加受付」にあるWS 当日参加受付名簿を記入し、WS 当日受付票を受け取って下さい。
- ・先着順に受付し、定員になり次第受付を終了いたしますので、ご了承ください。
- ・なお、開始時間から5分を過ぎてもご来場されない場合は、キャンセルとみなされますことをご了承ください。
- ・各WSの開始30分前より後に参加を希望される場合は、WS 開始10分前に会場に行って、代表者または共同企画者と直接交渉してください。

4. ランチョンセミナーについて（事前申込み）

本大会におけるランチョンセミナーについては事前申込みが可能です。

◎ランチョンセミナー事前申込フォーム

- ・事前申込開始日：6月26日（金）正午～ 締切日：7月10日（金）正午（定員に達した時点で事前に終了します）
- ・事前申込は「ランチョンセミナー事前申込フォーム」からお申込みください。
- ・事前申込み締切後にお弁当の残数がある場合は、当日ランチョンセミナー受付にてチケット配布を行います。
- ・ランチョンセミナーのお弁当申込は先着順とし、各セッション数量に達し次第終了します。
- ・ランチョンセミナーご参加につきましては、事前申込が定員に達した場合でも、当日お席に余裕があれば聴講いただけます。お弁当の持ち込みは可能です。

- ・当日は開演時間15分前より各会場前の受付で弁当を配布します。事前申込みの際の自動返信メールをご提示ください。
- ・**開演後5分を過ぎますと事前申込はキャンセルとみなされます**ので、ご注意ください。

日程	セッション名	タイトル	共催	会場	定員
7月18日（土） 12：10～ 13：10	ランチョン セミナー1	地域のニーズに対応 した当院の認知症医 療について ～看護との協働と訪 問診療による地域連 携を中心に～	医療法人 勉仁会 中垣病院	メインホール （大ホール）	200
7月18日（土） 12：10～ 13：10	ランチョン セミナー2	全般不安症（GAD） 治療におけるイフエ クサーの臨床的意義 と有効性	ヴィアトリス製薬 合同会社	第1会場 （小ホール）	80

日程	セッション名	タイトル	共催	会場	定員
7月19日（日） 11：40～ 12：40	ランチョン セミナー3	看護実践力と経営力 は違うのか！？ ～訪問看護ステーションの経営者二人 が語り合うリアル～	NPO 精神医療サポ ートセンター・訪問 看護ステーション いしずえ 精神医療サポート センターホール ディングス株式会社 株式会社ここから 三昌商事株式会社	メインホール （大ホール）	115
7月19日（日） 11：40～ 12：40	ランチョン セミナー4	新しい抗うつ薬 「ザズベイ [®] 」がもたらす うつ病治療の 新展開	塩野義製薬 株式会社	第1会場 （小ホール）	80

◎当日受付について

- ・ 事前申込み締切後にお弁当の残数がある場合は、当日ランチョンセミナー受付（大ホールホワイエ）にて、当日申込としてチケット配布を行います（先着順、お一人につき一枚ずつ配布）。
- ・ 当日申込時間は、7月18日（土）9時15分～12時15分、7月19日（日）9時～11時45分となります。
- ・ 開演時間15分前より各会場前の受付で弁当を配布します。チケットをご提示ください。なお、紛失された場合、再発行はいたしません。
- ・ **開演後5分を過ぎますと当日申込はキャンセルとみなされます**ので、ご注意ください。
- ・ キャンセル待ちをご希望の方は、開演時間後、当日ランチョンセミナー受付（大ホールホワイエ）にてご確認ください。

◎ランチョンセミナーのお弁当について

- ・ ランチョンセミナーでは北海道の障害福祉サービス事業所が提供する弁当を準備しております。利用者の方々が心を込めて調理した弁当を通じて、障害福祉の現場と参加者の皆様とのつながりを大切にしたいという趣旨で実施しています。
- ・ 各事業所で弁当の製作数に限りがあるため、各セッションにどの事業所の弁当が提供されるかは、事前にお知らせできません。また、同一セッションで複数の種類の弁当が提供される場合もございます。あらかじめご了承ください。
- ・ 以下の事業所から弁当をご提供いただきます。各事業所の理念や活動についてさらに詳しく知りたいという方は、ぜひ各事業所のホームページもあわせてご覧ください。

事業所名	弁当名	お弁当の紹介
医療法人社団 健心会 ソエル http://soel-soen.com/ https://www.instagram.com/soel-soen/	7月18日（土） ソエルの彩り弁当	私たちは、医療法人が運営する就労事業所を桑園で活動しています。社会と障がいの垣根を越えて、“働く全ての人たちの心身の健康とパフォーマンスをサポートする食事”の提供を目指しています。今回ご提供するお弁当は、この猛暑を乗り切れるように25g以上のたんぱく質と130g以上の野菜を摂ることが可能です。道産食材を極力使用し、お米は今金町の農家から、卵は栗山町の農場から取り寄せています。北海道を感じられる主菜と不足しがちな栄養を美味しく取り入れられる5種の副菜を準備いたしました。
NPO 法人リカバリー 就労継続支援B型事業所 トラヴァイユ・それいゆ https://npo-recovery.org/	7月18日（土） ①ショートパスタボロネーゼ弁当～ファームの朝採れ野菜サラダ付き ②まるごと北海道弁当～北海道の素材をふんだんに使った幕の内弁当 7月19日（日） ①道産野菜のペペロンチーノ風弁当～桜姫のから揚げ付き ②まるごと北海道弁当Part.2～北海道の素材をふんだんに使った幕の内弁当	NPO 法人リカバリーは、さまざまな被害体験を背景に病気や障害に苦しむ女性への援助を目的に立ち上がりました。就労継続支援B型事業所「トラヴァイユ・それいゆ」では、自分たちで育てたファームの野菜を、運営する「Café soleil」で調理し食するという小さな循環を通し、“安全な食で得られる心身の安定”をめざしています。ファームの野菜と道産食材たっぷりの心と身体に優しいお弁当です。ぜひご賞味ください！
NPO 法人きなはれ 白石障がい者就労センタースカイ https://sky.kinahare.info/	7月18日（土） 初夏の北海道満喫弁当（洋風） 7月19日（日） 初夏の北海道満喫弁当（和風）	一般就労に向けて日々訓練に励む障がいのある方々とともに、今が旬の北海道野菜と北海道豚肉を中心に、手作りにこだわり、真心を込めて調理いたします。 お味噌は当店特製の手作り味噌を使用し、素材の味を大切に、やさしい味わいに仕上げております。ぜひご賞味くださいませ。

5. 飲食について

- ・会場付近には昼食をとれるお店の数が少ないので、お弁当等を持ち込んで休憩室（4階ギャラリー）で飲食いただいてもかまいません。
- ・なお、その他の会場は主催者が準備する飲食物のみ可能ですが持ち込み弁当は不可となります。
- ・会場内で飲食をされる際に出るごみは、必ずお持ち帰りください。
- ・当日は市民公開イベントとして、～こころつながる～けっぱれマルシェを開催します。菓子類なども販売予定ですので、学会参加者の皆様もぜひご利用ください。
- ・本学術集会は「北海道エコイベント指針」に則り、マイバック・マイボトルの持参を推奨しております。

6. 学会総会について

- ・7月18日（土）16：40～17：40、メインホール（大ホール）第1会場（ホール）にて学会総会を行います。
- ・会員はご出席ください。

7. 会場内でのお願い

- ・会場内ではネームプレートの着用をお願いいたします。
- ・敷地内は禁煙です。
- ・会場内にWi-Fiはございません。抄録集やプログラムは、事前のダウンロードや印刷をお勧めいたします。
- ・講演・発表等のビデオ・写真撮影（カメラ付携帯電話を含む）・録音はご遠慮ください。
- ・携帯電話は電源をお切りになるか、マナーモードでご使用いただき、発表会場内での通話はご遠慮ください。
- ・学術集会で使用していない部屋には立ち入らないでください。また、話し声などが他の利用者の迷惑とならないようご注意ください。
- ・北海道エコイベントの指針に則り、会場での紙媒体によるポスター掲示やチラシ等の配布はいたしません。無断でのチラシの配布や壁、扉への貼紙はご遠慮ください。

8. 企業個室展示について

- ・企業展示は、3階研修室を使用した個室での展示形式を予定しております。ぜひお立ち寄りください。

日程・場所	企 画	企画内容
7月18日（土） 10：00～16：00 研修室 303	エーザイ株式会社 エコナビスタ株式会社	展示する商品は、睡眠解析技術をベースにした SaaS 型高齢者見守りシステムです。ベッドのマットレスの下に敷く「AI 搭載 Sleep Sensor」が睡眠、体動、心拍、呼吸データを取得。各種センサー・機器のデータとあわせて AI が解析し、申し送りなどもサポートします。また、取得したセンサーデータから睡眠・生活習慣を可視化することで、転倒・転落事故などの予兆を見つけます。これにより転倒・転落事故や夜間の排泄トラブルを軽減し、スタッフの負担軽減にもつながります。 ※ SaaS 型：利用者は、サービス提供者がクラウド上で運用するソフトウェアをインターネット経由で利用する形態のこと。開催時間内であれば、自由にご覧いただけますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。 また、当企画では、お茶菓子をご用意して皆様のご参加をお待ちしております。お茶菓子は 40 名様分をご準備しておりますので、数に限りがございます。あらかじめご了承ください。
7月19日（日） 10：00～16：00 研修室 303	三昌商事株式会社	【ティータイムセッション】 ・第 1 回目 11：00 ・第 2 回目 13：30 受付は当日、会場にて行います。各回先着 20 名となります。なお、先着 20 名の皆様には、お茶菓子をご用意しております。 セッションテーマ：「非接触センシング技術で“なんとなく”の観察を、“共有できる気づき”に変える」 「生活リズムの見える化は、精神保健看護に新たな視点をもたらすのでしょうか。」非接触センシング技術を活用し、施設・在宅や Wi-Fi 環境の有無を問わず、24 時間の生活リズムを継続的に把握できる見守り支援機器を展示します。実際の運用データをご覧いただきながら、本人理解や生活支援、多職種連携への活用の可能性をご紹介します。実機も展示し、設置方法や運用イメージもご覧いただけます。 なお、企業展示はセッション開催時間以外も自由にご覧いただけますので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

9. 報道関係者の方へ

受付でお名刺をお出しください。学会参加費をお支払いいただいた後、参加証をお渡しいたします。
なお、特定の個人への取材、写真撮影はご遠慮いただいております。

10. その他

- ・会場内の呼び出しは行いません。1階の受付エリア内に設置される掲示板をご活用ください。
- ・ご気分が悪くなられた場合は、お近くのスタッフまたは1階の総合受付へお申し出ください。
- ・落とし物、お忘れ物等は1階の総合受付でお預かりいたします。

11. 地震・災害などの緊急時

- ・災害発生時は、スタッフの誘導・誘導表示またはアナウンスに従って、落ち着いて避難してください。
その際は、エレベーターは使用せず、階段をご利用ください。

12. 日本精神保健看護学会からのお知らせ

1) 入会のご案内

ホームページ (<http://www.japmhn.jp/>) にて公開しております。

郵送先：〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 バレスサイドビル
(株) 毎日学術フォーラム内 (一社) 日本精神保健看護学会事務局

2) 広報のための撮影について

学会の広報活動の一環として、学術集会の様子を撮影する場合がございますことをご了承ください。
撮影されないことをご希望される場合は、撮影係またはスタッフへお申し出ください。

【事務局】

北海道科学大学 保健医療学部 看護学科
担当：笹木 弘美
〒006-8585 札幌市手稲区前田7条15丁目4-1
E-mail: jimu-japmhn36th.ml@scu.ac.jp

【運営事務局】

株式会社 Doshin EC
(旧社名：株式会社イー・シー、2025年7月1日より)
〒060-0807 札幌市北区北7条西4丁目8-3 北口ヨシヤビル5F
TEL: 011-299-5910 FAX: 011-299-5911
E-mail: japmhn36th@ec-mice.com

座長・発表者へのご案内

1. 各講演・シンポジウムの演者へ

- ・ 会長講演、教育講演、特別講演、市民公開講座、理事会企画、シンポジウムの演者は、1 階大ホールホワイエ「座長・演者受付」に各プログラムの開始 1 時間前までにお越しください。
- ・ 演者は、受付が済みましたら各プログラムの開始 30 分前までに 1 階大ホールホワイエ「PC 受付」にて発表データの登録をお済ませください。
- ・ 発表データは USB メモリーに保存してご持参ください。（オンラインストレージ経由でのダウンロードはいたしかねます）
- ・ 各プログラムの開始 10 分前までに、会場にお入りください。
- ・ 各セッションの進行は、座長にお任せいたします。座長の進行に応じて終了するようご協力をお願いいたします。
- ・ 講演中の PC 画面操作は、演者ご自身による手元操作になります。

2. データの作成・保存

- ・ 事務局では、Windows PC をご用意します。Macintosh の方は PC をお持ち込み下さい。アプリケーションは office365 を用意しております。
- ・ フォントは OS 標準のものを作成してください。
- ・ スライドは 16：9 の比率が推奨です。
- ・ 作成されたファイル名は「セッション名_演者名（例：シンポジウム 1_発表太郎）」としてください。
- ・ メディアを介したウィルス感染の事例がありますので、最新のウィルス駆除ソフトでチェックしてください。
- ・ 発表会場ではデータの修正はできませんので予めご了承ください。
- ・ 利益相反の開示をしていただきます。1 枚目に演題名・氏名・所属の表記、2 枚目に COI の表記を行ってください。今回発表する研究に関して企業等から助成金をもらっている場合は必ず開示してください。特になければ、「発表に関する開示すべき COI は特にありません」と明示してください。

3. 各講演・シンポジウムの座長へ

- ・ 会長講演、教育講演、特別講演、市民公開講座、市民公開企画、理事会企画、各シンポジウムの座長は、1 階大ホールホワイエ「座長・演者受付」に各プログラムの開始 1 時間前までにお越しください。
- ・ 各セッションの進行は、座長にお任せいたします。詳細は必要に応じて演者とお打ち合わせの上、時間内で終了するよう進行をお願いいたします。

4. 一般演題（口演）の演者へ

- ・ 発表データ登録は下記の期間、1 階大ホールホワイエ PC 受付で受け付けております。演者は発表セッション開始 30 分までに登録をお済ませください。
- ・ 【受付時間】 7 月 18 日（土）9:15 ～ 17:00、7 月 19 日（日）9:00 ～ 14:00 です。
- ・ 発表データは USB メモリーに保存してご持参ください。（オンラインストレージ経由でダウンロードはいたしかねます）
- ・ ご自身の PC を持ち込んでの発表は頂けません。
- ・ 発表は、1 演題 15 分（口演 10 分、質疑応答 5 分）です。
- ・ 演者は座長の進行指示にしたがってください。
- ・ 発表中の PC 画面操作は、演者ご自身による手元操作になります。
- ・ 口演終了 1 分前にベル 1 回、口演終了時にベル 2 回を鳴らします。
- ・ 会場での資料配布はできません。
- ・ 登録したデータは、本学術集会終了後に学術集会責任のもと消去いたします。

5. データの作成・保存

- ・事務局では、Windows PC をご用意します。Macintosh の方は PC をお持ち込み下さい。アプリケーションは office365 を用意しております。
フォントは OS 標準のものを作成してください。
- ・Macintosh のアプリケーション（Keynote）はご利用頂けません。Mac 版 Power point の利用は可能ですが、Windows 版でデータを表示する際、レイアウト崩れが発生する場合がありますので、事前に Windows 版 PC でデータの確認をお願いいたします。
- ・作成されたファイル名は「演題番号_ 演者名（例：O1-01_ 発表太郎）」としてください。
- ・メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新のウイルス駆除ソフトでチェックしてください。
- ・発表データ作成後、作成した PC 以外の PC で正常に動作するかチェックしてください。
- ・利益相反の開示をしていただきます。1 枚目に演題名・氏名・所属の表記、2 枚目に COI の表記を行ってください。今回発表する研究に関して企業等から助成金をもらっている場合は必ず開示してください。特になければ、「発表に関する開示すべき COI は特にありません」と明示してください。

6. 一般演題（口演）座長へ

- ・1 階大ホールホワイエ「座長・演者受付」に各プログラムの開始 1 時間前までにお越しください。
- ・ご担当のセッションの開始 10 分前までに会場にお入りいただき、前セッションの終了後、座長席にお座りください。
- ・セッション開始のアナウンスは特にございませんので、定刻になりましたら、セッションを開始してください。
- ・発表は、1 演題 15 分（口演 10 分、質疑応答 5 分）です。時間内で終了するよう進行をお願いします。

7. 一般演題（示説）の演者へ

【当日の受付】

- ・演者は発表日のポスター貼付時間内に、4 階 401 研修室内の「ポスター発表受付」にお越しください。発表者用のリボンをお渡しします。
- ・ご自身の演題番号をご確認いただき、同じ番号のパネルにご自身にて貼付をお願いいたします。

【発表形式】

- ・発表は 60 分間の自由討論形式です。指定時間にご自身のポスター前で待機し、ポスターパネルを訪問された参加者と質疑応答や意見交換をお願いいたします。
- ・発表時間中は、ポスター発表受付でお渡ししたリボンを左胸あたりにつけてください。

【ポスター会場】

■会 場 研修室 401（4 階）

■貼付時間 下記時間内に発表者ご自身にてご掲示ください。

ポスター掲示用の画鋏は、事務局で準備致します。

1 日目発表者：7 月 18 日（土）10：00～12：00

2 日目発表者：7 月 19 日（日）9：00～10：00

■発表時間 該当のセッション時間にご自身のポスター前に待機してください。

ポスター発表①：7 月 18 日（土）13：20～14：20

ポスター発表②：7 月 18 日（土）15：00～16：00

ポスター発表③：7 月 19 日（日）10：30～11：30

ポスター発表④：7 月 19 日（日）12：50～13：50

■撤去時間 下記時間内に発表者ご自身にてご撤去・お持ち帰りください。

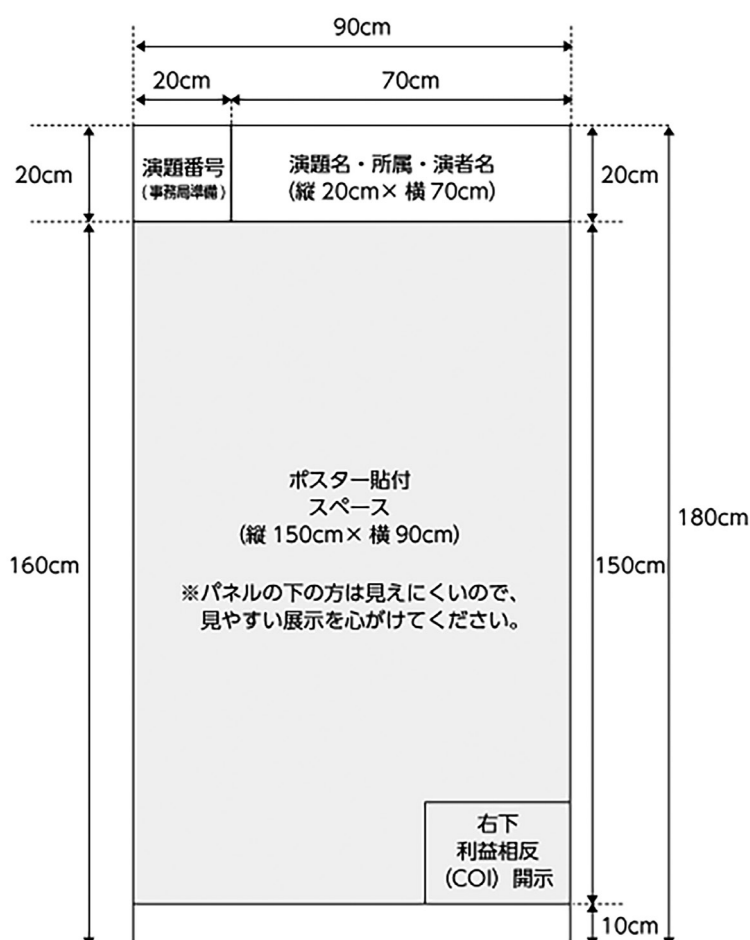
1 日目発表者：7 月 18 日（土）16：00～17：00

2 日目発表者：7 月 19 日（日）15：00～16：00

【ポスターパネルサイズ】

ポスターパネルのサイズは、縦 180cm × 横 90cm です。演題番号（20cm 四方）は、運営事務局で用意します。演題名・所属・演者名は下図のスペース内（縦 20cm × 横 70cm）に記載してください。貼付スペース：縦 150cm × 横 90cm に収まるようにしてください。なお、パネルの下の方は見えにくいので、見やすい展示を心がけてください。

また、利益相反（COI）の開示を右下に表記してください。今回発表する研究に関して企業等から助成金をもらっている場合は必ず開示してください。特になければ、「発表に関する開示すべき COI は特にありません」と表記してください。



交通案内

札幌市教育文化会館には駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

札幌市教育文化会館

(〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西13丁目7)



〈近隣マップ〉



■ 札幌市営地下鉄でお越しの場合

地下鉄 東西線「西11丁目」駅下車、1番出口から徒歩5分

■ JR札幌駅からお越しの場合

地下鉄 南北線「さっぽろ」駅より乗車、「大通」駅にて東西線乗り換え

東西線 「西11丁目」駅下車、1番出口から徒歩5分

バス JR札幌駅バスターミナルから、中央バス（円山経由小樽行）、
JR北海道バス（小樽行、手稲営業所、手稲鉦山行）に乗車し、
「北1条西12丁目」で下車、徒歩1分

車・タクシー 札幌駅南口タクシー乗り場より約10分

徒歩 約20分

■ 新千歳空港からお越しの場合

【JR札幌駅まで】

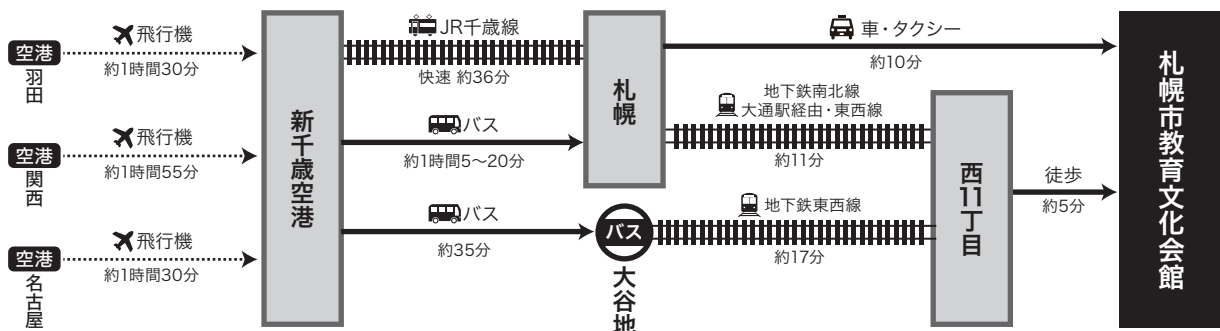
JR千歳線 約37分

連絡バス・路線バスの利用 65～80分

車・タクシーの利用 90分程度

【地下鉄東西線「大谷地」駅まで】

「大谷地」行連絡・路線バス（約35分）で終点下車、
「大谷地」駅から乗車、「西11丁目」駅下車、
1番出口から徒歩5分



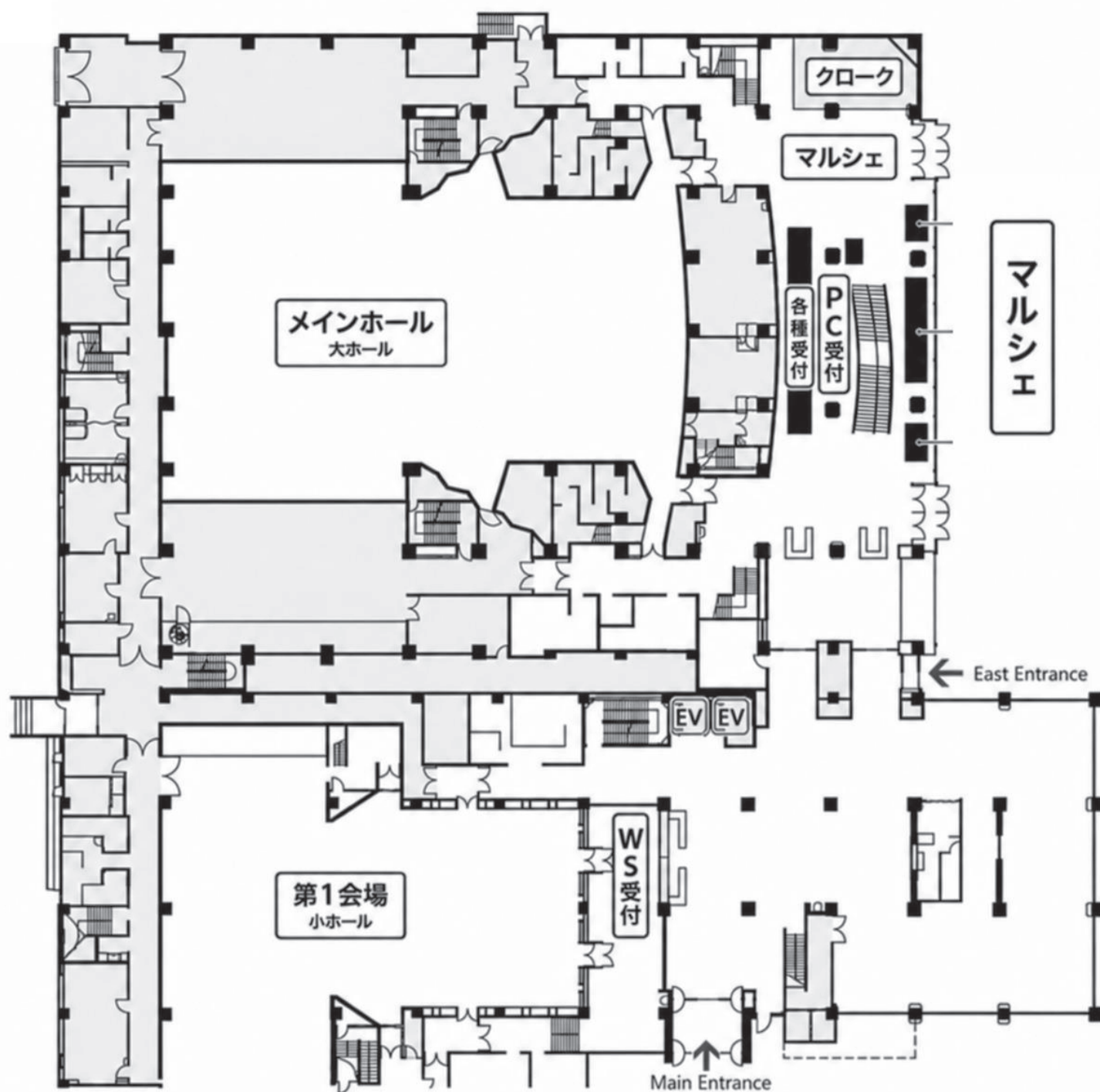
■ 自家用車でお越しの場合…会場内の駐車場はございません。お近くの有料駐車場をご利用ください。

会場案内図（フロアマップ）

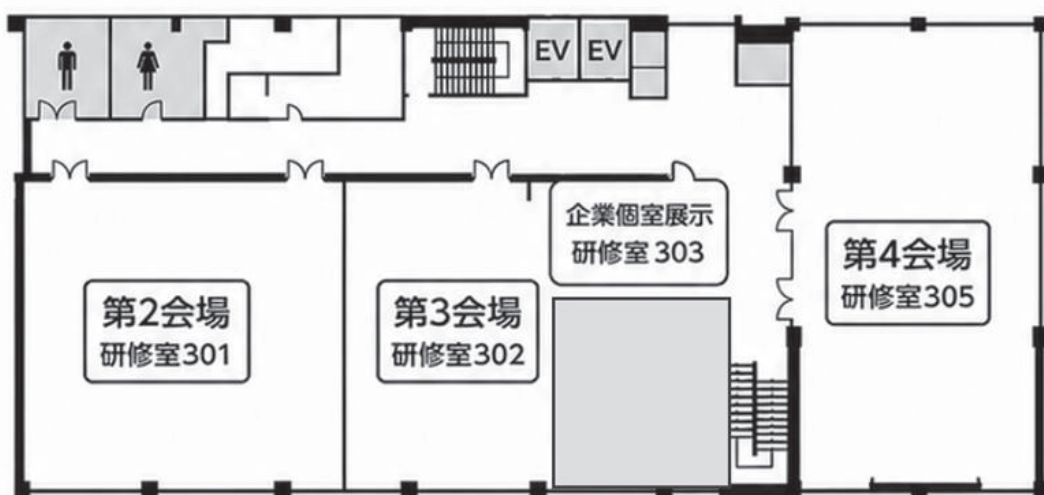
1 階

札幌市教育文化会館

(〒060-0001 北海道札幌市中央区北1条西13丁目7)



3 階



4 階



地下 1 階



第1日目 7月18日(土)

会場	メインホール		第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場				
	大ホール	ホワイエ	大ホール	小ホール	研修室 301	研修室 302	研修室 305		研修室 401		
			大ホール	1F	3F	3F	3F		4F		
9:00	受付	市民公開イベント ～こころつながる～ ～けっぱれマルシェ							9:00		
9:15-17:00										9:30	
9:30										10:00	
10:00				10:00-10:10【開会式】					10:00-12:00	10:30	
10:30				10:10-10:50 会長講演 けっぱれ！精神保健看護 今こそ開拓のとき 演者：守村洋 座長：寺岡征太郎		10:30-12:00	10:30-12:00	10:30-11:45	1日目ポスター貼付	11:00	
11:00			11:00-17:00	11:00-11:50 特別講演 1 すみれ会の歩んできた 半世紀と これからのあゆみ 演者：宮岸真澄 座長：守村洋	ワークショップ-01 虐待通報について話そう 入院中の精神障害者の 虐待通報制度の施行で 見えてきたこと	ワークショップ-02 これからの精神看護学 臨床実習をどのように 行っていくのかについて 語ろう	一般演題（口演） 第1群 地域生活支援と家族支援 座長：明間正人 西池絵衣子	11:30			
11:30											
12:00											
12:30				12:10-13:10 ランチョンセミナー 1 地域のニーズに対応した 当院の認知症医療について ～看護との協働と訪問診療による 地域連携を中心に～ 演者：古川美盛 座長：徳木弘美 共催：医療法人船仁会 中垣病院	12:10-13:10 ランチョンセミナー 2 全般不安症（GAD） 治療におけるイフェクサーの 臨床的意義と有効性 演者：井上猛 座長：守村洋 共催：ヴィアトリス製薬合同会社				12:00-16:00	13:00	
13:00										1日目ポスター展示	13:30
13:30				13:20-14:50 特別講演 2 北の地における 精神保健福祉 開拓の歴史を語る ～帯広・十勝圏域の 精神保健医療福祉～ 演者：門屋充郎 座長：宮本真巳	13:20-14:50 教育講演 1 質的研究の考え方： 量では測れないものを 科学的に考えるために 演者：大谷尚 座長：渋谷友紀	13:20-14:50	13:20-14:50	13:20-14:35	13:20-14:20 一般演題（示説） ポスター発表①		14:00
14:00						ワークショップ-07 精神科外来における 看護外来支援 モデルの作成	ワークショップ-08 第4回インクルーシブ Cafe 患者虐待防止の ために精神科医療に おけるモヤモヤについて 話しましょう	一般演題（口演） 第3群 精神科救急と 急性期における看護 座長：水野恵理子 池田智			14:30
14:30											15:00
15:00				15:00-16:30 理事会企画 シンポジウム 精神科病院での ケア文化を問いなおす 一人ひとりの実践に 向き合う 演者：青山浩平 座長：武用百子 田上美千佳	15:00-17:00 市民公開企画 映画 「どうすればよかったか？」 上映会 日本精神科看護協会 北海道支部・日本精神 保健看護学会第36回 学術集会合同企画 進行：岩代純 増満誠	15:00-16:30	15:00-16:30	15:00-16:30	15:00-16:00 一般演題（示説） ポスター発表②	15:30	
15:30						ワークショップ-13 ヒアリング・ヴォイシズが 拓く精神看護の実践 ー「声」を聴く 体験を考えるー	ワークショップ-14 哲学対話 Vol.2 『闇バイト』への加担を 防ぐために私たちができ ることを考えましょう！	一般演題（口演） 第5群 外来看護と 看護師への専門的支援 座長：白井敦子 中戸川早苗	16:00-17:00 1日目発表者 ポスター撤去	16:00	
16:00										16:30	
16:30				16:40-17:40							17:00
17:00				【総会】							17:30
17:30									18:00		
18:00									18:30		
18:30									19:00		
19:00	18:50-20:20 【懇親会】 北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎） ホール A・ホール B								19:30		
19:30									20:00		
20:00											

第1日目 7月18日(土)

会場	第 6 会場	第 7 会場	第 8 会場	第 9 会場	第 10 会場	企業個室展示会場 1	
	講堂	研修室 402	研修室 403	リハーサル室 A	練習室 A	研修室 303	
	4F	4F	4F	B1F	B1F	3F	
9:00							9:00
9:30							9:30
10:00						10:00-16:00	10:00
10:30	10:30-11:15 一般演題（口演） 第 2 群 看護学生と高度看護実践① 座長：千葉理恵 山岡由実	10:30-12:00 ワークショップ -03 コプロダクション型の ケアプランを作ってみよう ～精神科訪問看護の 質向上にむけて～	10:30-12:00 ワークショップ -04 お酒の飲み方に問題があり そうな患者さんへ、 総合病院の看護師は 何ができるだろう？ ～アルコール依存症の 2次予防 はじめの一步～	10:30-12:00 ワークショップ -05 精神科訪問看護における 家族支援の対象と実践の 範囲ーライフステージ 別事例からの検討ー	10:30-12:00 ワークショップ -06 リハビリーと表現活動 ～アートを通じた体験談～	企業個室展示 1 エーザイ株式会社 エコナビスタ株式会社	10:30
11:00							11:00
11:30							11:30
12:00							12:00
12:30							12:30
13:00							13:00
13:30	13:20-14:35 一般演題（口演） 第 4 群 病棟における 看護実践と課題 座長：河野伸子 田中浩二	13:20-14:50 ワークショップ -09 効果の確認された摂食症 母親支援プログラムの 活用方法を伝授します！	13:20-14:50 ワークショップ -10 実装研究の方法論を 活用した現場の Quality Improvement とは ー現場をより良くする精神 看護領域における Quality Improvement プロジェクトの実際ー	13:20-14:50 ワークショップ -11 あなたも疑う？ 精神医療・ 看護現場における〈ことば〉 懷疑／会議	13:20-14:50 ワークショップ -12 若手精神看護学教員の主体 的実践の一步を促す試み ーワークショップ参加者から 企画者へー		13:30
14:00							14:00
14:30							14:30
15:00	15:00-16:30 一般演題（口演） 第 6 群 看護師の経験と キャリア支援 座長：森真喜子 濱田由紀	15:00-16:30 ワークショップ -15 看工連携による精神保健 看護教育の可能性～拡張 現実（AR）による 統合失調症患者の 患者体験教材の開発～	15:00-16:30 ワークショップ -16 日本の精神科看護の父 “宮本真巳”と語ろう ～精神科看護における 対人関係論の伝承～	15:00-16:30 ワークショップ -17 問題点に目がいきがちな アルコール依存症を抱えた 人に対するストレングス しごうの看護の定着に向けた 事例検討会…笑抱の会 @JAPMHN36	15:00-16:30 ワークショップ -18 リフレクティングの体験 ー当事者と支援者の会話 空間に豊かな「間」と 「場」をつくることー		15:00
15:30							15:30
16:00							16:00
16:30							16:30
17:00							17:00
17:30							17:30
18:00							18:00
18:30							18:30
19:00	18:50-20:20 【懇親会】 北海道庁旧本庁舎（赤れんが庁舎）ホール A・ホール B						19:00
19:30							19:30
20:00							20:00

第2日目 7月19日(日)

会場			メインホール	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場			
	大ホール　ホワイエ		大ホール	小ホール	研修室 301	研修室 302	研修室 305	研修室 401			
				1F	3F	3F	3F	4F			
9:00	受付	市民公開イベント ～ところつながる～ けっぱれマルシェ						9:00-10:00	9:00		
9:30								2日目発表者 ポスター貼付	9:30		
10:00			10:00-16:00	9:50-11:20 シンポジウム 1 現場の「わざ」から 「技術」へ ー精神看護の実践知ー 座長：近田真美子 那須典政	9:50-11:20 教育講演 2 メリデン版訪問家族支援 が問いかける精神保健医 療福祉の未来～本人もだ いじ、家族ひとりひとり もだいじを目指して～ 演者：佐藤純 座長：鈴木大輔	10:00-11:30 災害対策委員会企画 ワークショップ 平時からの災害の備えを ともに考える -Psychological・ Zero・Aid- ファシリテーター ：田中浩二、大川貴子、 池田智、岩切真砂子、 大江真人、木下将太郎、 高谷新、長田恭子、 服部希恵、福田紀子、 藤代知美、山岡由実	10:00-11:30 ワークショップ -19 看護学基礎教育・精神 看護学実習における 生成 AI 活用を考える ー臨床指導者と教員の 協働による教育実践の 可能性ー	10:00-11:30 一般演題（口演） 第 7 群 看護師の心理的支援と 教育的支援 座長：則村良 石川かおり	10:00-15:00 2 日目ポスター展示	10:00	
10:30									10:30-11:30 一般演題（示説） ポスター発表③	10:30	
11:00										11:00	
11:30										11:30	
12:00					11:40-12:40 ランチョンセミナー3 看護実践力と経営力は違うのか！？ ～訪問看護ステーションの経営者 二人が語り合うリアル～ 演者：田邊友也、村本好孝 座長：石川千恵 共催：NPO 精神医療サポートセンター・ 訪問看護ステーションいしずみ 精神医療サポートセンター ホールディングス株式会社 株式会社ここから　三昌商事株式会社	11:40-12:40 ランチョンセミナー 4 新しい抗うつ薬 「ザズベイ®」がもたらす うつ病治療の新展開 演者：井上猛 座長：守村洋 共催：塩野義製薬株式会社				12:00	
12:30										12:30	
13:00					12:50-14:20 パネル ディスカッション 精神看護はどうすれば よかったか？ ファシリテーター ：吉野賢寿美 コメンテーター ：藤野知明	12:50-14:20 特別講演 3 AI の歴史と AI エージェント： こころのケアの未来 演者：中島秀之 座長：増満誠	12:50-14:20 ワークショップ -24 ギャンブル等依存症に おける家族支援の あり方を考えよう	12:50-14:20 ワークショップ -25 Cognitive Adaptation Training（認知適応 トレーニング）を用いた 重度かつ慢性精神疾患 患者の地域移行・定着 支援の実際	12:50-13:50 一般演題（口演） 第 9 群 看護理論と 高度看護実践② 座長：金子眞理子 三井啓子	12:50-13:50 一般演題（示説） ポスター発表④	13:00
13:30										13:30	
14:00										14:00	
14:30					14:30-16:20 シンポジウム 2 シン・対話シンポジウム 「未来語りのダイアローグ ～ピアサポーターと 看護師が妄想する 理想の未来～」 座長：澤田いずみ 石橋佐枝子	14:40-16:10 市民公開講座 けっぱれから考える 心の健康 ひと目を気にせず、 自分にやさしく 講師：香山リカ 座長：伊藤治幸	14:30-16:00 ワークショップ -30 精神看護で起こる 「怒り」の理解と 付き合い方を学ぶ	14:30-16:00 ワークショップ -31 臨床行動分析を用いた 精神看護の臨床判断を 体験しよう	14:30-16:00 一般演題（口演） 第 11 群 地域生活と当事者の体験 座長：結城佳子 瀬戸屋希	15:00-16:00 2 日目発表者 ポスター撤去	14:30
15:00										15:00	
15:30										15:30	
16:00										16:00	
16:30					16:35-16:55 閉会式					16:30	
17:00										17:00	
17:30										17:30	
18:00										18:00	
18:30										18:30	
19:00										19:00	
19:30										19:30	
20:00										20:00	

第2日目 7月19日(日)

会場	第6会場	第7会場	第8会場	第9会場	第10会場	企業個室展示会場1	
	講堂	研修室 402	研修室 403	リハーサル室 A	練習室 A	研修室 303	
	4F	4F	4F	B1F	B1F	3F	
9:00							9:00
9:30							9:30
10:00	10:00-11:15	10:00-11:30	10:00-11:30	10:00-11:30	10:00-11:30	10:00-16:00	10:00
10:30	一般演題(口演) 第8群 児童・思春期 座長：柴田真紀 長山豊	ワークショップ-20 メタ認知トレーニング (MCT)をもっと身近に —はじめかた・ 続けかたの工夫	ワークショップ-21 精神看護領域における高度 実践看護事例検討会 —事例を通じて精神看護 専門看護師の思考と判断の プロセスを可視化する—	ワークショップ-22 精神保健看護の教育・実践 で活かすデジタルツール —教育・研修の現場から 見えてきたこと—	ワークショップ-23 看護教育における 「共同創造」とは？ あなたの現在地と一緒に 確認してみませんか	企業個室展示 2 三昌商事 株式会社	10:30
11:00							11:00
11:30							11:30
12:00							12:00
12:30							12:30
13:00	12:50-14:05	12:50-14:20	12:50-14:20	12:50-14:20	12:50-14:20		13:00
13:30	一般演題(口演) 第10群 批判的思考と 看護倫理 座長：田辺有理子 江波戸和子	ワークショップ-26 “本気で”倫理カンファ レンスを定着させるため に—倫理を語りやすくす る組織風土を目指して—	ワークショップ-27 シミュレーション教育と DXを活用した教育実践	ワークショップ-28 こころの理解から ケアを導く事例検討会	ワークショップ-29 価値観の可視化ツール 『オタワ意思決定ガイド』 を使って ディンジョン・コーチングを 体験してみよう！		13:30
14:00							14:00
14:30	14:30-16:00	14:30-16:00	14:30-16:00	14:30-16:00	14:30-16:00		14:30
15:00	一般演題(口演) 第12群 依存症とメンタルヘルス 座長：渡辺純一 桐山啓一郎	ワークショップ-32 学校と家庭をつなぐ児童 精神科訪問看護の役割 —医療・教育・生活を 横断する実践から考える—	ワークショップ-33 病院主導精神科アウト リーチの取り組みと実践	ワークショップ-34 自殺が起きた場合のスタ ッフ支援に必要な知識と 組織体制—ポストペンシ ョンの実装と定着に向けて	ワークショップ-35 精神科看護師のための マインドフルネスとコン パッションケアする人を 支え、質の高い看護実践へ		15:00
15:30							15:30
16:00							16:00
16:30							16:30
17:00							17:00
17:30							17:30
18:00							18:00
18:30							18:30
19:00							19:00
19:30							19:30
20:00							20:00

プログラム

◆メインプログラム

7月18日(土) 10:10~10:50

メインホール(大ホール)

会長講演

けっぱれ! 精神保健看護 今こそ開拓のとき

演者: 守村 洋 (第36回学術集会会長、札幌市立大学)

座長: 寺岡征太郎 (第37回学術集会会長、帝京大学)

7月18日(土) 11:00~11:50

メインホール(大ホール)

特別講演1

すみれ会の歩んできた半世紀とこれからのあゆみ

演者: 宮岸 真澄 (NPO 法人精神障害者回復者クラブすみれ会 前理事長)

座長: 守村 洋 (札幌市立大学)

7月18日(土) 13:20~14:50

メインホール(大ホール)

特別講演2

北の地における精神保健福祉開拓の歴史を語る～帯広・十勝圏域の精神保健医療福祉～

演者: 門屋 充郎 (十勝障がい者支援センター 理事長)

座長: 宮本 眞巳 (感性ケア研究会 代表)

7月19日(日) 12:50~14:20

第1会場(小ホール)

特別講演3

AI の歴史とAI エージェント: こころのケアの未来

演者: 中島 秀之 (札幌市立大学 学長)

座長: 増満 誠 (日本赤十字北海道看護大学)

7月18日(土) 13:20~14:50

第1会場(小ホール)

教育講演1

質的研究の考え方: 量では測れないものを科学的に考えるために

演者: 大谷 尚 (名古屋経済大学)

座長: 渋谷 友紀 (札幌市立大学)

7月19日(日) 9:50~11:20

第1会場(小ホール)

教育講演2

メリデン版訪問家族支援が問いかける精神保健医療福祉の未来

～本人もだいじ、家族ひとりひとりもだいじを目指して～

演者: 佐藤 純 (Carer and family support きょうと 代表、
一般社団法人ジャパンファミリーワークプロジェクト 代表)

座長: 鈴木 大輔 (医療法人社団五稜会病院)

7月19日(日) 9:50~11:20

メインホール (大ホール)

シンポジウム1

現場の「わざ」から「技術」へ ―精神看護の実践知―

NPO 法人こころ・精神看護をもっと深く学ぶ会・ACT-Kによる合同企画

座長：近田真美子（大阪成蹊大学）

那須 典政（医療法人社団五風会さっぽろ香雪病院）

シンポジスト：

河村奈美子（精神看護をもっと深く学ぶ会、滋賀医科大学）

宮地 普子（NPO 法人こころ、北海道医療大学）

相澤 加奈（NPO 法人こころ、医療法人溪仁会手稲溪仁会病院）

小畑 力人（ACT-K）

横田 季子（ACT-K）

7月19日(日) 14:30~16:20

メインホール (大ホール)

シンポジウム2

シン・対話シンポジウム

「未来語りのダイアログ ～ピアサポーターと看護師が妄想する理想の未来～」

座長：澤田いずみ（札幌医科大学）

石橋佐枝子（札幌市立大学）

シンポジスト：

鈴木 大輔（医療法人社団五稜会病院）

中川 有（公益財団法人北海道精神保健推進協会こころのリカバリー総合支援センター）

村本 好考（株式会社ここから）

藤井 大士（特定医療法人朋友会石金病院）

伊藤 知之（社会福祉法人浦河べてるの家）

矢部 滋也（北海道ピアサポート協会）

鈴木 智仁（地域生活支援センターさっぽろ）

千葉悠美子（訪問看護のぱるもい's ステーション）

コンダクター：

守村 洋（札幌市立大学）

笹木 弘美（北海道科学大学）

フロアコンダクター：

吉野 淳一（北海道家庭総合カウンセリングセンター）

相澤 加奈（手稲溪仁会病院）

石川 千恵（mental nursing office まちえーる）

清永 久子（日本医療大学）

武田美恵子（日本赤十字北見赤十字病院）

人見 敬子（札幌医科大学付属病院）

山本 幸子（帯広厚生病院）

指定発言：

武井 麻子（オフィス ASAKO）

7月18日(土) 15:00~16:30

メインホール(大ホール)

理事会企画シンポジウム

精神科病院でのケア文化を問いなおす 一人ひとりの実践に向き合う

演者：青山 浩平 (NHK 第二制作センター文化ETV 特集 チーフディレクター)

座長：武用 百子 (日本精神保健看護学会 理事長、大阪大学)

田上美千佳 (日本精神保健看護学会 副理事長、千葉大学)

7月19日(日) 12:50~14:20

メインホール(大ホール)

パネルディスカッション

精神看護はどうすればよかったか？

ファシリテーター：

吉野賀寿美 (北海道大学)

コメンテーター：

藤野 知明 (動画工房ぞうしま、監督)

パネリスト：

本村 剛 (就労継続支援B型事業所おりなす、当事者)

丸子 慎平 (こころカ・プロダクション、当事者)

川田 泰輔 (家族、元旭川市役所生活保護CW)

小田島みどり (家族)

谷藤 伸恵 (訪問看護ステーションやまのて 訪問看護師)

7月19日(日) 10:00~11:30

第2会場(研修室301)

災害対策委員会企画ワークショップ

平時からの災害の備えをともに考える - Psychological・Zero・Aid -

ファシリテーター：

田中 浩二 (金沢大学)

大川 貴子 (福島県立医科大学)

池田 智 (第一薬科大学)

岩切真砂子 (慈圭病院)

大江 真人 (金沢医科大学)

木下将太郎 (トキノ株式会社 訪問看護ステーションみのり)

高谷 新 (山形県立保健医療大学)

長田 恭子 (金沢大学)

服部 希恵 (日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院)

福田 紀子 (慶応義塾大学)

藤代 知美 (四国大学)

山岡 由実 (大阪医科薬科大学)

7月18日(土) 12:10~13:10

メインホール(大ホール)

ランチョンセミナー1

共催：医療法人勉仁会 中垣病院

地域のニーズに対応した当院の認知症医療について
～看護との協働と訪問診療による地域連携を中心に～

演者：古川 美盛(医療法人勉仁会 中垣病院 院長)

座長：笹木 弘美(北海道科学大学)

7月18日(土) 12:10~13:10

第1会場(小ホール)

ランチョンセミナー2

共催：ヴィアトリス製薬合同会社

全般不安症(GAD)治療におけるイフェクサーの臨床的意義と有効性

演者：井上 猛(札幌花園病院 副院長・臨床薬理センター長)

座長：守村 洋(札幌市立大学)

7月19日(日) 11:40~12:40

メインホール(大ホール)

ランチョンセミナー3

共催：NP0 精神医療サポートセンター・訪問看護ステーションいしずえ

精神医療サポートセンターホールディングス株式会社 株式会社ここから 三昌商事株式会社

看護実践力と経営力は違うのか！？
～訪問看護ステーションの経営者二人が語り合うリアル～

演者：田邊 友也(NP0 精神医療サポートセンター・訪問看護ステーションいしずえ、
精神医療サポートセンターホールディングス株式会社)

村本 好孝(株式会社ここから)

座長：石川 千恵(mental nursing office まちえーる)

7月19日(日) 11:40~12:40

第1会場(小ホール)

ランチョンセミナー4

共催：塩野義製薬株式会社

新しい抗うつ薬「ザズベイ®」がもたらすうつ病治療の新展開

演者：井上 猛(札幌花園病院 副院長・臨床薬理センター長)

座長：守村 洋(札幌市立大学)

7月18日(土) 15:00~17:00

第1会場(小ホール)

市民公開企画

映画「どうすればよかったか？」上映会

日本精神科看護協会北海道支部・日本精神保健看護学会第36回学術集会による合同企画

進行：岩代 純(日本精神科看護協会 北海道支部長、医療法人北仁会石橋病院)

増満 誠(日本赤十字北海道看護大学)

7月19日(日) 14:40~16:10

第1会場(小ホール)

市民公開講座

けっばれから考える心の健康 ひと目を気にせず、自分にやさしく

講師：香山 リカ(むかわ町国民健康保険穂別診療所 副所長、北洋大学 客員教授)

座長：伊藤 治幸(天使大学)

◆ワークショップ

7月18日(土) 10:30~12:00

第2会場(研修室 301)

ワークショップ-01

WS-01 虐待通報について話そうー入院中の精神障害者の虐待通報制度の施行で見てきたこと

○小池 純子, 三宅 美智, 川口 敬之, 松長 麻美

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所

7月18日(土) 10:30~12:00

第3会場(研修室 302)

ワークショップ-02

WS-02 これからの精神看護学臨地実習をどのように行っていくのかについて語ろう○田上 美千佳¹⁾, 鈴木 美央¹⁾, 清水 崇志¹⁾, 佐久間 詩織²⁾

1) 千葉大学大学院, 2) 千葉大学大学院看護学研究科

7月18日(土) 10:30~12:00

第7会場(研修室 402)

ワークショップ-03

WS-03 コプロダクション型のケアプランを作ってみようー精神科訪問看護の質向上にむけてー○瀬戸屋 希¹⁾, 木戸 芳史²⁾, 青木 裕見¹⁾, 矢内 里英³⁾, 小泉 快^{1,4)}, 福島 鏡¹⁾

1) 聖路加国際大学, 2) 浜松医科大学, 3) 訪問看護ステーションぽしぶる,

4) 訪問看護ステーションソレイユハートケア

7月18日(土) 10:30~12:00

第8会場(研修室 403)

ワークショップ-04

**WS-04 お酒の飲み方に問題がありそうな患者さんへ、総合病院の看護師は何ができるだろう？
ーアルコール依存症の2次予防 はじめの一步ー**○内野 小百合¹⁾, 若杉 慶嗣²⁾, 中神 静香³⁾, 白井 教子³⁾, 村田 涼子⁴⁾

1) 常磐大学看護学部看護学科, 2) 神奈川工科大学健康医療科学部看護学科, 3) 北里大学病院看護部,

4) 帝京平成大学ヒューマンケア学部看護学科

7月18日(土) 10:30~12:00

第9会場(リハーサル室 A)

ワークショップ-05

**WS-05 精神科訪問看護における家族支援の対象と実践の範囲
ーライフステージ別事例からの検討ー**○林 裕子¹⁾, 笹木 弘美²⁾, 草野 知美³⁾, 梅林 秀行²⁾

1) 天使大学大学院看護栄養学研究科看護学専攻, 2) 北海道科学大学保健医療学部看護学科,

3) 天使大学看護栄養学部看護学科

7月18日(土) 10:30~12:00

第10会場(練習室A)

ワークショップ-06

WS-06 リカバリーと表現活動～アートを通じた体験談～

○藤澤 希美¹⁾、石川 恵己²⁾、稲垣 麻里子³⁾、鈴木 叶⁴⁾、丹羽 俊樹²⁾

- 1) 横浜市立大学医学部看護学科, 2) 特定医療法人共和会共和病院,
3) 一般社団法人北海道ピアサポート協会, 4) なし

7月18日(土) 13:20~14:50

第2会場(研修室301)

ワークショップ-07

WS-07 精神科外来における看護外来支援モデルの作成

○畠山 卓也¹⁾、浅沼 瞳²⁾、則村 良³⁾、三井 督子⁴⁾、西池 絵衣子⁵⁾、池内 香¹⁾、田井 雅子¹⁾、
竹林 令子⁶⁾、岡 京子⁷⁾、小山 達也⁸⁾、渡辺 純一⁹⁾

- 1) 高知県立大学看護学部, 2) 昭和医科大学保健医療学部看護学科,
3) 医療法人財団青溪会駒木野病院, 4) 京都大学大学院医学研究科, 5) 兵庫県立大学看護学部,
6) 杏林大学保健学部看護学科, 7) 駒沢女子大学看護学部, 8) 聖路加国際大学大学院看護学研究科,
9) 公益財団法人井之頭病院

7月18日(土) 13:20~14:50

第3会場(研修室302)

ワークショップ-08

WS-08 第4回インクルーシブ Cafe

患者虐待防止のために精神科医療におけるモヤモヤについて話しましょう

○夫 博美¹⁾、山内 彩香²⁾、片岡 三佳³⁾、佐藤 寧子^{4,5)}、福島 美貴⁶⁾、福田 久仁子⁷⁾、
安保 寛明⁸⁾

- 1) 藍野大学短期大学部, 2) 大阪医科薬科大学看護学部看護学科,
3) 三重大学大学院医学系研究科看護学専攻, 4) 淀川キリスト教病院,
5) 大阪大学大学院医学系研究科, 6) 中部大学生命健康科学部保健看護学科,
7) 福山平成大学看護学部看護学科, 8) 山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科

7月18日(土) 13:20~14:50

第7会場(研修室402)

ワークショップ-09

WS-09 効果の確認された摂食症母親支援プログラムの活用方法を伝授します！

○香月 富士日¹⁾、澤田 華世¹⁾、川崎 友香²⁾

- 1) 名古屋市立大学大学院看護学研究科, 2) 名古屋市立大学病院

7月18日(土) 13:20~14:50

第8会場(研修室403)

ワークショップ-10

**WS-10 実装研究の方法論を活用した現場の Quality Improvement とは
—現場をより良くする精神看護領域における Quality Improvement プロジェクトの実際—**
○榎戸 文子^{1,2)}, 小林 みゆき³⁾, 遠藤 恵美^{4,6)}, 瀬戸屋 希⁵⁾

- 1) 国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科, 2) 国立成育医療研究センター政策科学研究部,
3) 国際医療福祉大学成田看護学部, 4) 横浜市立大学附属市民総合医療センター病院,
5) 聖路加国際大学大学院看護学研究科, 6) 聖路加国際大学大学院看護学研究科博士後期課程 DNP コース

7月18日(土) 13:20~14:50

第9会場(リハーサル室A)

ワークショップ-11

WS-11 あなたも疑う? 精神医療・看護現場における〈ことば〉懷疑/会議
○近田 真美子¹⁾, 西村 高宏²⁾

- 1) 大阪成蹊大学看護学部, 2) 大阪大学大学院人文学研究科

7月18日(土) 13:20~14:50

第10会場(練習室A)

ワークショップ-12

**WS-12 若手精神看護学教員の主体的実践の一步を促す試み
—ワークショップ参加者から企画者へ—**
○大河内 敦子¹⁾, 森本 淳子²⁾, 児玉 善明³⁾, 藏本 綾⁴⁾

- 1) 帝京大学医療技術学部看護学科, 2) 神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部看護学科,
3) 愛知県立大学看護学部看護学科, 4) 香川大学医学部看護学科

7月18日(土) 15:00~16:30

第2会場(研修室301)

ワークショップ-13

WS-13 ヒアリング・ヴォイシズが拓く精神看護の実践 —「声」を聴く体験を考える—
○小松 容子^{1,4)}, 竹内 瞳^{2,4)}, 松本 葉子^{3,4)}

- 1) 宮城大学看護学群, 2) 聖隷横浜病院, 3) 一般社団法人 SCRAP&BUILD 訪問看護ステーションヨハク,
4) ヒアリング・ヴォイシズ研究会

7月18日(土) 15:00~16:30

第3会場(研修室302)

ワークショップ-14

WS-14 哲学対話 Vol.2

『闇バイト』への加担を防ぐために私たちができることを考えましょう!

○福嶋 美貴¹⁾, 今泉 源²⁾, 小坂 益成³⁾, 中井 理賀⁴⁾

- 1) 中部大学生命健康科学部保健看護学科, 2) 名古屋市立大学大学院看護学研究科,
3) 松蔭大学看護学部看護学科, 4) 愛知県立大学看護学部看護学科

7月18日(土) 15:00~16:30

第7会場(研修室402)

ワークショップ-15

WS-15 看工連携による精神保健看護教育の可能性

～拡張現実(AR)による統合失調症患者の患者体験教材の開発～

○田中 晴佳¹⁾, 角田 響介¹⁾, 尾山 匡浩²⁾, 田原 熙昂²⁾, 藤本 健司²⁾, 坪井 桂子¹⁾,
小川 あい¹⁾, 神谷 訓康¹⁾

1) 神戸市看護大学, 2) 神戸市立工業高等専門学校

7月18日(土) 15:00~16:30

第8会場(研修室403)

ワークショップ-16

WS-16 日本の精神科看護の父”宮本真巳”と語ろう～精神科看護における対人関係論の伝承～

○津田 哲也¹⁾, 宮本 真巳²⁾

1) 国立精神・神経医療研究センター病院医療観察法病棟, 2) 元亀田医療大学看護学部

7月18日(土) 15:00~16:30

第9会場(リハーサル室A)

ワークショップ-17

WS-17 問題点に目がいきがちなアルコール依存症を抱えた人に対するストレングスしこうの看護の定着に向けた事例検討会…笑抱の会@JAPMHN36

○片岡 三佳¹⁾, 藤原 稔章²⁾, 渋谷 隆幸³⁾, 藪田 歩⁴⁾, 安里 順子⁵⁾, 福山 敦子⁶⁾1) 三重大学大学院, 2) 藍里病院, 3) リンクよこはま訪問看護ステーション,
4) 訪問看護ステーションみのり, 5) ACT-K ねこのて訪問看護ステーション,
6) 訪問看護ステーション聲

7月18日(土) 15:00~16:30

第10会場(練習室A)

ワークショップ-18

WS-18 リフレクティングの体験

—当事者と支援者の会話空間に豊かな「間」と「場」をつくること—

○西池 絵衣子¹⁾, 末安 民生²⁾, 平岩 千明³⁾, 松本 奈央¹⁾

1) 兵庫県立大学看護学部, 2) 佛教大学看護学部, 3) 武蔵野大学看護学部

7月19日(日) 10:00~11:30

第3会場(研修室302)

ワークショップ-19

WS-19 看護学基礎教育・精神看護学実習における生成AI活用を考える

—臨床指導者と教員の協働による教育実践の可能性—

○田野 将尊¹⁾, 佐藤 美保²⁾, 茅根 寛子³⁾, 渡辺 純一³⁾, 小川 賀恵²⁾, 浅沼 瞳⁴⁾1) 医療法人埼玉会埼玉草加病院, 2) 杏林大学保健学部看護学科看護学専攻,
3) 公益財団法人井之頭病院, 4) 昭和医科大学保健医療学部看護学科

7月19日(日) 10:00~11:30

第7会場(研修室402)

ワークショップ-20

WS-20 メタ認知トレーニング(MCT)をもっと身近に—はじめかた・続けかたの工夫

○田上 博喜¹⁾, 則包 和也²⁾, 北野 進³⁾, 窪 恵子⁴⁾, 矢野 裕佳子^{1,4)}1) 宮崎大学医学部看護学科, 2) 香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科,
3) 東京都立病院機構東京都立松沢病院, 4) 宮崎大学大学院看護学研究科

7月19日(日) 10:00~11:30

第8会場(研修室403)

ワークショップ-21

WS-21 精神看護領域における高度実践看護事例検討会

—事例を通じて精神看護専門看護師の思考と判断のプロセスを可視化する—

○松村 麻衣子^{1,2)}, 三井 督子^{2,3)}, 馬場 華奈己^{2,4)}, 本武 敏弘^{2,5)}, 遠藤 恵美^{2,6)},
白井 教子^{2,7)}, 下野 史子^{2,8)}, 高木 美歩^{2,9)}, 小野寺 悠斗^{2,10)}, 河野 佐代子^{2,11)},
中村 創^{2,12)}, 寺岡 征太郎^{2,13)}, 武用 百子^{2,14)}1) 大阪信愛学院大学, 2) 日本精神保健看護学会高度実践活動推進委員会, 3) 京都大学大学院,
4) 大阪公立大学医学部附属病院, 5) 熊本保健科学大学, 6) 横浜市立大学附属市民総合医療センター,
7) 北里大学病院, 8) 国保直営総合病院君津中央病院,
9) 一般社団法人メンタルヘルスサポート九州訪問看護ステーションアトラス福岡, 10) 湘南医療大学,
11) 慶應義塾大学病院, 12) トキノ株式会社, 13) 帝京大学, 14) 大阪大学大学院

7月19日(日) 10:00~11:30

第9会場(リハーサル室A)

ワークショップ-22

WS-22 精神保健看護の教育・実践で活かすデジタルツール

—教育・研修の現場から見えてきたこと—

○石塚 真美¹⁾, 岡田 佳詠¹⁾, 室井 慧^{2,3)}, 蜂須賀 智子⁴⁾, 氏家 好野⁵⁾1) 国際医療福祉大学成田看護学部看護学科, 2) 筑波大学高等研究院(TIAR),
3) 国際統合睡眠医科学研究機構(WPI-IIIS),
4) 地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター東千葉メディカルセンター, 5) 株式会社Plusbase

7月19日(日) 10:00~11:30

第10会場(練習室A)

ワークショップ-23

WS-23 看護教育における「共同創造」とは? あなたの現在地を一緒に確認してみませんか

○石村 佳代子¹⁾, 石川 淳²⁾, 黒髪 恵³⁾, 千々岩 友子⁴⁾, 山崎 将展²⁾1) 国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科, 2) 相談支援事業所サポートセンターなかせ,
3) 福岡大学医学部看護学科, 4) 福岡国際医療福祉大学看護学部看護学科

7月19日(日) 12:50~14:20

第2会場(研修室 301)

ワークショップ-24

WS-24 ギャンブル等依存症における家族支援のあり方を考えよう

○吉田 有里¹⁾, 辰見 由紀子¹⁾, 村上 篤紀²⁾, 吉井 ひろ子³⁾

- 1) 公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会ギャンブル依存症者を家族に持つNs 部会,
 2) 公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会当事者支援部, 3) 関西国際大学保健医療学部

7月19日(日) 12:50~14:20

第3会場(研修室 302)

ワークショップ-25

WS-25 CAT-Cognitive Adaptation Training(認知適応トレーニング)を用いた重度かつ慢性精神疾患患者の地域移行・定着支援の実際

○川田 陽子¹⁾, 武用 百子²⁾, 森 まどか³⁾, 牧野 耕次¹⁾, 下通 友美¹⁾, 市川久美子²⁾

- 1) 滋賀県立大学人間看護学部, 2) 大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻,
 3) ジミー訪問看護ステーション

7月19日(日) 12:50~14:20

第7会場(研修室 402)

ワークショップ-26

WS-26 “本気で” 倫理カンファレンスを定着させるために
—倫理を語りやすくする組織風土を目指して—○本武 敏弘^{1,9)}, 前田 愛^{2,9)}, 小倉 圭介^{3,9)}, 富樫 剛清^{4,9)}, 葛島 慎吾^{5,9)}, 西 将希^{6,9)},
板橋 朱麻留^{7,9)}, 高木 美歩^{8,9)}

- 1) 熊本保健科学大学, 2) 昭和医科大学横浜市北部病院,
 3) 順天堂大学医学部附属浦安病院診療部メンタルクリニック, 4) 医療法人社団積信会長谷川病院,
 5) 宮崎県立看護大学看護学部, 6) 帝京大学医療技術学部看護学科,
 7) 淑徳大学看護栄養学部看護学科,
 8) 一般社団法人メンタルヘルスサポート九州訪問看護ステーションアトラス福岡, 9) こぐまの会

7月19日(日) 12:50~14:20

第8会場(研修室 403)

ワークショップ-27

WS-27 シミュレーション教育とDXを活用した教育実践

○佐藤 史教, 中野 千恵子, 佐藤 つかさ, 中崎 恵理捺
岩手県立大学看護学部看護学科

7月19日(日) 12:50~14:20

第9会場(リハーサル室A)

ワークショップ-28

WS-28 こころの理解からケアを導く事例検討会

○小林 信^{1,7)}, 須藤 公裕^{2,7)}, 神澤 尚利^{3,7)}, 寺岡 征太郎^{4,7)}, 寺田 美樹^{1,7)}, 則村 良^{5,7)}, 田上 美千佳⁶⁾

- 1) 東京医科大学医学部看護学科, 2) 医療法人愛精会あいせい紀年病院,
3) 東京都立大学健康福祉学部看護学科, 4) 帝京大学医療技術学部看護学科,
5) 医療法人財団青溪会駒木野病院, 6) 千葉大学大学院看護学研究院, 7) 精神看護ケア検討会事務局

7月19日(日) 12:50~14:20

第10会場(練習室A)

ワークショップ-29

WS-29 価値観の可視化ツール『オタワ意思決定ガイド』を使ってディシジョン・コーチングを体験してみよう！

○青木 裕見¹⁾, 福島 鏡²⁾, 宮原 慶江³⁾

- 1) 聖路加国際大学大学院看護学研究科, 2) 聖路加国際大学大学院看護学研究科博士後期課程,
3) NTT 東日本関東病院

7月19日(日) 14:30~16:00

第2会場(研修室301)

ワークショップ-30

WS-30 精神看護で起こる「怒り」の理解と付き合い方を学ぶ

○小泉 祐貴, 篁 宗一, 佐藤 浩一, 濱口 惣則

静岡県立大学看護学部

7月19日(日) 14:30~16:00

第3会場(研修室302)

ワークショップ-31

WS-31 臨床行動分析を用いた精神看護の臨床判断を体験しよう

○加藤 宏公¹⁾, 柳澤 博紀²⁾, 大瀧 明子³⁾, 西田 祐紀⁴⁾, 兒玉 善明¹⁾, 中井 理賀¹⁾

- 1) 愛知県立大学看護学部, 2) 医療法人桜桂会犬山病院心理室, 3) 滋賀県立精神医療センター看護部,
4) 三重大学医学部医学・看護学教育センター

7月19日(日) 14:30~16:00

第7会場(研修室402)

ワークショップ-32

WS-32 学校と家庭をつなぐ児童精神科訪問看護の役割

— 医療・教育・生活を横断する実践から考える —

○齋藤 透¹⁾, 鈴木 龍生^{2,3,4)}

- 1) ケアプロ株式会社ショートケーキ訪問看護ステーション,
2) 山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科, 3) いちまる訪問看護ステーション,
4) 一般社団法人日本精神科訪問看護協会

7月19日(日) 14:30~16:00

第8会場(研修室 403)

ワークショップ-33

WS-33 病院主導精神科アウトリーチの取り組みと実践

○富樫 剛清¹⁾, 富永 佳代²⁾, 成宮 純平¹⁾

1)医療法人社団積信会長谷川病院, 2)おうち訪問看護ステーション西新井

7月19日(日) 14:30~16:00

第9会場(リハーサル室A)

ワークショップ-34

WS-34 自殺が起きた場合のスタッフ支援に必要な知識と組織体制

ーポストベンションの実装と定着に向けて

○小山 達也¹⁾, 河野 佐代子²⁾, 北野 進³⁾, 田嶋 佐知子⁴⁾, 田中 浩二⁵⁾, 田久保 美千代⁶⁾

1)東京医科大学医学部看護学科, 2)慶應義塾大学看護医療学部,

3)地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立松沢病院, 4)元ホウカン TOKYO 教育・研究企画部,

5)金沢大学医薬保健研究域保健学系, 6)慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科後期博士課程

7月19日(日) 14:30~16:00

第10会場(練習室A)

ワークショップ-35

WS-35 精神科看護師のためのマインドフルネスとコンパッションケアする人を支え、

質の高い看護実践へ

○佐藤 寧子¹⁾, 緑川 綾²⁾, 秋山 美紀³⁾

1)淀川キリスト教病院, 2)慶應義塾大学看護医療学部, 3)武蔵野大学ウェルビーイング学部

◆一般演題 口演

7月18日(土) 10:30~11:45

第4会場(研修室 305)

一般演題 口演第1群 地域生活支援と家族支援

座長：明間 正人（合同会社coraticum 訪問看護ステーション sola）

西池 絵衣子（兵庫県立大学看護学部）

O1-01 精神科デイケアを利用する精神疾患をもつ人の希望に焦点をあてた看護実践の検討

○星 敬子¹⁾，瓜崎 貴雄²⁾

1) 沖縄県立看護大学大学院保健看護学研究科，2) 沖縄県立看護大学

O1-02 地域で生活する精神疾患を有する人の居場所感とソーシャルスキルとの関連

○廣島 薫留¹⁾，鈴木 美央²⁾，田上 美千佳²⁾

1) 千葉大学医学部附属病院看護部，2) 千葉大学大学院看護学研究院

O1-03 精神科訪問看護で利用者と家族が同席する場面における家族支援の内容
ー精神科訪問看護師へのインタビュー調査ー○横山 愛¹⁾，森 真喜子²⁾，松浦 佳代²⁾

1) 訪問看護ステーションデューン多摩，2) 国立看護大学校

O1-04 精神病床に入院となった自殺未遂患者の家族が求める支援

○小椋 博美

公益財団法人星総合病院星ヶ丘病院

O1-05 精神障がい者をケアする家族のストレス対処に関するナラティブレビュー
ー首尾一貫感覚（Sense of coherence）に着目してー○高橋 英章¹⁾，本田 光²⁾

1) 札幌市中央区役所，2) 札幌市立大学

7月18日(土) 10:30~11:15

第6会場(講堂)

一般演題 口演第2群 看護学生と高度看護実践①

座長：千葉 理恵（京都大学大学院医学研究科）

山岡 由実（大阪医科薬科大学）

O2-02 看護学生を対象としたトラウマインフォームドケア動画学習プログラムの効果検証：
前後比較試験○小西 優歌¹⁾，土肥 早稀²⁾，浅岡 紘季²⁾，宮本 有紀¹⁾，谷口 麻希³⁾

1) 東京大学大学院医学系研究科精神看護学分野，

2) 東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野，

3) 東京科学大学大学院保健衛生学研究科精神保健看護学分野

O2-04 精神疾患をもつ人の問題行動が顕在化し近隣住民から苦情がみられる状況に対する 保健師の支援プロセス

○山口 千夏, 長山 豊, 大江 真人
金沢医科大学

O2-05 急性期総合病院における精神科リエゾン介入の実態と課題 —新規介入患者の量的分析に基づく検討—

○東谷 敬介
公立大学法人札幌市立大学看護学部

7月18日(土) 13:20~14:35

第4会場(研修室 305)

一般演題 口演第3群 精神科救急と急性期における看護

座長: 水野 恵理子(順天堂大学大学院医療看護学研究科)
池田 智(第一薬科大学看護学部)

O3-01 精神疾患を疑う急性期事例における警察及び保健所の初動対応に対する認識の違い —当事者の人権に配慮した円滑な連携に向けて

○木村 奨¹⁾, 本田 光²⁾
1)医療法人重仁会大谷地病院, 2)公立大学法人札幌市立大学看護学部

O3-02 精神科救急事態における看護師の臨床判断の概念分析 一定義属性の明確化—

○青木 彩香^{1,2)}, 加藤木 真史¹⁾, 水戸 優子¹⁾
1)神奈川県立保健福祉大学大学院保健福祉学研究科, 2)金沢文庫エールクリニック

O3-03 予期せぬ緊急性の高い身体的治療のために他病棟から支援にあたった精神科看護師の 困難感

○高野 翔子
医療法人財団青溪会こまぎの訪問看護ステーション天馬北野事業所

O3-04 救急外来看護師が精神疾患患者対応で抱える困難感と自己効力感 —精神保健看護との協働に向けた検討—

○森 まどか
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻, 社会医療法人清恵会清恵会病院

O3-05 急性期病院へ入院中のアルツハイマー型認知症を伴う大腿骨近位部骨折患者の 概日リズム睡眠障害を予防する看護実践の実態についてのインタビュー調査

○市毛 智佳子^{1,2)}, 池内 彰子³⁾, 長谷川 陽子³⁾, 福田 大祐³⁾
1)茨城県立中央病院, 2)常磐大学大学院看護学研究科修士課程, 3)常磐大学看護学部

7月18日(土) 13:20~14:35

第6会場(講堂)

一般演題 口演第4群 病棟における看護実践と課題

座長：河野 伸子（横須賀共済病院）

田中 浩二（金沢大学医薬保健研究域保健学系）

O4-01 医療観察法小規模併設型病棟における看護師の現状と課題

○佐藤 浩一，篁 宗一

静岡県立大学看護学部看護学科

O4-02 精神科病棟におけるサポートプラン（個別支援計画）

—目標設定に着目した病棟別の記述的分析—

○橋爪 卓¹⁾，斎藤 菜奈実¹⁾，高橋 駿佑¹⁾，丸山 由美子¹⁾，星野 洋子²⁾

1)医療法人崇徳会田宮病院，2)なし

O4-03 精神科病棟におけるサポートプラン（個別支援計画）

—開発と導入過程に関する実践報告—

○高橋 駿佑¹⁾，斎藤 菜奈実¹⁾，橋爪 卓¹⁾，丸山 由美子¹⁾，星野 洋子²⁾

1)社会医療法人崇徳会田宮病院，2)なし

O4-04 かかわりの成立が困難な長期入院患者との関係性の変化過程における精神科看護師の看護実践

○田中 千晶¹⁾，市川 久美子²⁾，加藤 有花²⁾，川崎 絵里香²⁾，武用 百子²⁾

1)メリーリハビリ訪問看護ステーション，2)大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

O4-05 A 精神科病院身体合併症病棟における ACP 実践に向けた課題の明確化

○孤爪 靖子¹⁾，福田 大祐²⁾，長谷川 陽子²⁾，池内 彰子²⁾

1)医療法人圭愛会日立梅ヶ丘病院看護部，2)学校法人常磐大学大学院看護学研究科

7月18日(土) 15:00~16:30

第4会場(研修室305)

一般演題 口演第5群 外来看護と看護師への専門的支援

座長：白井 教子（北里大学病院）

中戸川 早苗（北里大学健康科学部）

O5-01 精神保健領域で勤務する看護師のソーシャルワークに関する学習と実践についての調査—インタビューによる質的研究—

○矢野 裕佳子¹⁾，齊藤 陽菜²⁾，田上 博喜¹⁾

1)宮崎大学医学部看護学科，2)一宮西病院

O5-02 うつ病回復期にある人の内服治療に関する共同意思決定を促進する看護面接の有効性の検証

○江波戸 和子

帝京平成大学ヒューマンケア学部看護学科

O5-03 A 精神科病院外来における「看護カウンセリング」の実践的取り組み ～これまでの振り返りと今後の発展に向けて～

○柵山 るみ¹⁾, 七澤 広¹⁾, 守村 洋²⁾

1) 医療法人社団五稜会病院, 2) 札幌市立大学看護学部

O5-04 精神科外来看護師による患者からの電話への対応のプロセス —電話対応が停滞するプロセスに焦点を当てて—

○川澄 大祐¹⁾, 森 真喜子²⁾

1) 訪問看護ステーションくつろぎ, 2) 国立看護大学校

O5-05 精神科外来看護師による精神障害者への治療上の選択に関する意思決定支援の実際

○天谷 史樹, 神澤 尚利, 山下 真裕子

東京都立大学大学院人間健康科学研究科

O5-06 A 県内の救急医療に従事する看護師の自殺企図患者に対する思考・感情への対処に ついて（第一報）

○高橋 正樹, 欠ノ下 郁子, 山本 勝則

札幌保健医療大学看護学科

7月18日（土）15:00～16:30

第6会場（講堂）

一般演題 口演第6群 看護師の経験とキャリア支援

座長：森 真喜子（国立看護大学校）

濱田 由紀（東京女子医科大学）

O6-01 無力感を抱えながらも精神科慢性期病棟でモチベーションを維持した中堅看護師の経験

○伊藤 祐大¹⁾, 岡田 佳詠²⁾, 根本 友見³⁾

1) 国際医療福祉大学大学院, 2) 国際医療福祉大学成田看護学部看護学科,

3) 国際医療福祉大学成田看護学部

O6-02 看護師のワーク・エンゲイジメントと進学意欲および研修の参加回数の関連

○水野 琴音¹⁾, 安保 寛明¹⁾, 新宮 洋之^{1,2)}, 高谷 新¹⁾, 佐々木 和実³⁾

1) 山形県立保健医療大学, 2) いちまる訪問看護ステーション, 3) 山形市立病院済生館

O6-03 精神科看護師のワーク・エンゲイジメントと心理的安全性の関連

○大岩 祐哉¹⁾, 香月 富士日²⁾

1) 医療法人八誠会もりやま総合心療病院, 2) 名古屋市立大学大学院看護学研究科

O6-04 精神科を初任とする看護師の一般診療科異動後の経験と必要な支援

○木元 司

岩手保健医療大学看護学部看護学科

O6-05 離職した新人看護師が看護職を継続することができた心理的プロセス○小堀 昂¹⁾, 守村 洋²⁾, 渋谷 友紀²⁾

1) 北海道大学病院看護部, 2) 札幌市立大学看護学部

O6-06 一般病院 3 急性期精神科病棟に勤務する新卒看護師が支えられていると感じた先輩看護師の関わり○佐藤 孝紀¹⁾, 根本 友見²⁾, 岡田 佳詠²⁾

1) 東京慈恵会医科大学附属病院看護部, 2) 国際医療福祉大学成田看護学部

7月19日(日) 10:00~11:30

第4会場(研修室 305)

一般演題 口演第7群 看護師の心理的支援と教育的支援

座長: 則村 良(医療法人財団青溪会駒木野病院看護部)

石川 かおり(岐阜県立看護大学)

**O7-01 大学病院精神科病棟における看護師の葛藤と心理的安全性の関連構造
～チームダイナミクスと看護実践に焦点をあてて～**○佐藤 高也¹⁾, 若杉 慶嗣³⁾, 高木 裕樹¹⁾, 駒井 香代子¹⁾, 木内 勇佑¹⁾, 田辺 有理子²⁾,
山田 典子²⁾1) 横浜市立大学附属市民総合医療センター, 2) 横浜市立大学医学部看護学科,
3) 神奈川工科大学健康医療科学部看護学科**O7-02 看護師を対象にした Wellness Recovery Action Plan (WRAP) の効果検証
-無作為化比較試験による検討-**○矢山 壮¹⁾, 的場 圭¹⁾, 安保 寛明²⁾, 藤田 茂治³⁾

1) 関西医科大学, 2) 山形県立保健医療大学, 3) 訪問看護ステーションりすたーと

**O7-03 言語的暴力を受けた精神科若手看護師の陰性感情を低減するための集団認知行動療法
プログラムの効果検討: 混合研究法**○重田 ちさと¹⁾, 根本 友見²⁾, 岡田 佳詠²⁾

1) 国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科, 2) 国際医療福祉大学成田看護学部

O7-04 看護師がケア場面で体験する怒りと上手に付き合うためのプログラムの検討○土井 良恵¹⁾, 川田 美和²⁾

1) 兵庫県立尼崎総合医療センター, 2) 兵庫県立大学

**O7-05 精神看護専門看護師・精神科認定看護師の精神科看護師への認知行動療法の病院内での
教育の工夫と課題**○佐藤 靖子¹⁾, 岡田 佳詠²⁾

1) 一般財団法人精神医学研究所附属東京武蔵野病院, 2) 国際医療福祉大学成田看護学部

07-06 看護師が境界性パーソナリティ障害患者と援助関係を構築するための学習プログラムの検討—弁証法的行動療法における「認証」を用いて—

○西牧 直人

株式会社 CAREG 訪問看護ステーションりんく

7月19日(日) 10:00~11:15

第6会場(講堂)

一般演題 口演第8群 児童・思春期

座長：柴田 真紀(北里大学看護学部)

長山 豊(金沢医科大学)

08-01 発達障害児の学習ニーズとそれに対する訪問看護師の支援の認識

○吉田 遥, 安保 寛明

山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科

08-02 精神科訪問看護師による自閉スペクトラム症をもつ思春期の児童の地域生活を支援するプロセス

○小泉 快¹⁾, 瀬戸屋 希²⁾

1) 訪問看護ステーションソレイユハートケア, 2) 聖路加国際大学

08-03 児童・思春期において精神科閉鎖病棟への入院体験を有した成人の語るライフストーリー

○小山内 萌緑¹⁾, 原田 由香²⁾, 澤田 いずみ²⁾

1) 札幌医科大学大学院保健医療学研究科看護学専攻, 2) 札幌医科大学保健医療学部看護学科

08-04 熟練看護師が児童精神科退院後の患児や家族に実践する外来看護ケアの内容

○柳堀 唯¹⁾, 石村 佳代子²⁾, 小林 みゆき³⁾

1) 国立健康危機管理研究機構国立国府台医療センター,

2) 国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科, 3) 国際医療福祉大学成田看護学部看護学科

08-05 精神科救急・急性期病棟の中堅看護師による発達障害に統合失調症を合併した患者への対応：臨床知の質的研究

○林 嶺

浅香山病院

7月19日(日) 12:50~13:50

第4会場(研修室305)

一般演題 口演第9群 看護理論と高度看護実践②

座長：金子 眞理子（東京慈恵会医科大学医学部看護学科精神看護学）

三井 督子（京都大学大学院医学研究科）

O9-01 精神看護専門看護師が行う情緒的支援の実態と思考

○新藤 紀子

医療法人社団つくば健仁会とよさと病院

O9-02 シロシビン療法における精神科看護の専門性の確立：
ナイチンゲールの環境論とトラベルビーの対人関係理論を用いたガイドモデルの構築

○中谷 春香

所属なし

O9-03 WRAP（Wellness Recovery Action Plan）を活用した心理社会的介入による
自己効力感とリカバリー促進に与える影響○尾形 恵^{1,3)}，安保 寛明²⁾

1) 二本松会山形さくら町病院，2) 山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科，

3) 山形県立保健医療大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻博士前期過程

O9-04 精神科病棟におけるクライシス・プランの実践状況と課題

○鈴木 美央¹⁾，田上 美千佳¹⁾，清水 崇志¹⁾，鈴木 茜²⁾，佐久間 詩織³⁾

1) 千葉大学大学院看護学研究院，2) 吉祥寺病院，3) 千葉大学大学院看護学研究院

7月19日(日) 12:50~14:05

第6会場(講堂)

一般演題 口演第10群 批判的思考と看護倫理

座長：田辺 有理子（横浜市立大学医学部看護学科）

江波戸 和子（帝京平成大学）

O10-01 精神科看護職者のロールモデルの有無による看護実践能力と批判的思考態度との関連

○田端 一成¹⁾，大関 愛美⁴⁾，米川 里恵¹⁾，小田倉 剛¹⁾，濱野 幸和²⁾，池内 彰子³⁾，
福田 大祐⁵⁾

1) 茨城県立こころの医療センター，2) 医療法人精光会みやざきホスピタル，3) 常磐大学，

4) 茨城県立中央病院，5) 日本医科大学

O10-02 精神科看護師の倫理的行動へのメタ認知と批判的思考の影響

○大関 愛美¹⁾，田端 一成²⁾，米川 里恵²⁾，小田倉 剛²⁾，池内 彰子³⁾，濱野 幸和⁴⁾，
福田 大祐⁵⁾

1) 茨城県立中央病院，2) 茨城県立こころの医療センター，3) 常磐大学看護学部看護学科，

4) みやざきホスピタル，5) 日本医科大学医療健康科学部

O10-03 精神科病院で働く看護職の職場の人間関係の実態と倫理的悩みの関連○岸 美智子^{1,3)}, 岡本 亜紀²⁾1) 岡山大学大学院保健学研究科, 2) 岡山大学学術研究院保健学域看護学分野,
3) 独立行政法人岡山県精神科医療センター**O10-04 看護学生及び看護指導教員から見た A 病院における患者対応の実態
～虐待リスク事案に焦点を当てて～**

○高田 香苗

みやぎ静心会国見台病院

**O10-05 A 地域における関係流動性に着目した精神障害へのスティグマ分析と地域移行への
応用可能性の探求**

○岡田 昌也, 大達 亮, 羽生 貞親

周南公立大学人間健康科学部看護学科

7月19日(日) 14:30～16:00

第4会場(研修室305)

一般演題 口演第11群 地域生活と当事者の体験

座長: 結城 佳子(名寄市立大学保健福祉学部)

瀬戸屋 希(聖路加国際大学)

**O11-01 持効性注射薬(LAI)を使用している精神障がい者の生活体験
—精神障がい者の語りによる事例研究—**○坂井 加恵¹⁾, 柴田 真紀²⁾

1) 秦野厚生病院, 2) 北里大学看護学部

**O11-02 精神障害をもつ人のソーシャルフットボールを通じたパーソナルリカバリーに関する
質的研究**○大江 真人¹⁾, 長山 豊¹⁾, 山口 千夏¹⁾, 寺口 由紀¹⁾, 中井 寿雄²⁾

1) 金沢医科大学看護学部, 2) 高知県立大学看護学部

O11-03 精神科退院後に地域生活を再構築するプロセス—孤独とのつきあい方に焦点をあてて—○舞弓 京子¹⁾, 濱田 由紀²⁾

1) 久留米大学医学部看護学科, 2) 東京女子医科大学看護学部

O11-04 統合失調症をもつ当事者が地域生活を継続するための工夫○野口 裕己¹⁾, 松田 光信²⁾, 河野 あゆみ³⁾1) 特定医療法人大阪精神医学研究所新阿武山病院,
2) 大阪公立大学大学院看護学研究科先進ケア科学領域精神行動ケア科学分野,
3) 大阪公立大学大学院看護学研究科先進ケア科学領域精神行動ケア科学分野**O11-05 「精神障害者の就労定着」に関する概念分析**

○牧之瀬 稔, 山下 真裕子

東京都立大学大学院人間健康科学研究科

O11-06 精神疾患をもち地域で活動するピアサポーターが体験するピアサポート活動上の困難とその対処

○佐久間 詩織¹⁾，鈴木 美央²⁾，清水 崇志²⁾，田上 美千佳²⁾

1) 千葉大学大学院看護学研究科，2) 千葉大学大学院看護学研究院

7月19日(日) 14:30～16:00

第6会場(講堂)

一般演題 口演第12群 依存症とメンタルヘルス

座長：渡辺 純一（公益財団法人井之頭病院）

桐山 啓一郎（名古屋市立大学）

O12-01 デイケアへ通うアルコール依存症患者へ個別心理教育を活用した看護実践

○新村 はるか

北見赤十字病院

O12-02 コーピング特性と孤独感の持続との関連：農村地域住民を対象とした縦断研究

○岩澤 敦史^{1,2)}，宮本 翔平³⁾

1) 淑徳大学看護栄養学部，2) 秋田大学大学院医学系研究科衛生学・公衆衛生学講座，

3) 一般社団法人 地域自殺対策戦略機構

O12-03 大学生のSNS 利用と社会的比較および主観的幸福感の関連

○高尾 くるみ¹⁾，田島 杏子²⁾，小川 佳菜子¹⁾，岡崎 由夏³⁾，松尾 和香⁴⁾，永江 誠治⁵⁾，
岳 こなみ⁵⁾

1) 長崎大学病院，2) 独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター，3) 京都大学医学部附属病院，

4) 順天堂大学附属浦安病院，5) 長崎大学生命医科学域（保健学系）

O12-04 地域で生活するアルコール使用症者のリカバリーに関連する要因に関する研究 —メタ認知・自尊感情・自己効力感との関連—

○清水 崇志，鈴木 美央，田上 美千佳

千葉大学大学院看護学研究院

O12-05 消化器内科看護師がアルコール関連問題を持つ患者をケアする体験 —大学病院に勤務する看護師へのインタビューから—

○中神 静香¹⁾，柴田 真紀²⁾

1) 北里大学病院，2) 北里大学

O12-06 職域の孤独感の関連要因についての国内外文献レビュー —労働者の精神的健康への支援にむけて—

○丹野 正江

淑徳大学看護栄養学部看護学科

◆一般演題 示説（ポスターセッション）

7月18日（土）13:20～14:20

第5会場（研修室 401）

一般演題 示説（ポスター発表①）

P1-01 学童期発達障害児に対する訪問看護師の看護実践○美王 真紀¹⁾，高橋 篤信¹⁾，太田 友子²⁾，松村 麻衣子¹⁾

1) 大阪信愛学院大学看護学部，2) 山口大学医学部保健学科

**P1-02 健常者を対象にした簡易的セルフ・コンパッション介入研究の動向
— スコーピングレビュー（第一報） —**

○小谷野 康子

東京慈恵会医科大学大学院医学研究科看護学専攻

**P1-03 支援者が体験を「演じてみる」ことによる外在化と再構築
— 自己理解・他者理解の深化に着目して —**

○渡部 尚

日本赤十字看護大学看護学部

P1-04 高校生にとっての不登校要因と居場所—高校時代の不登校経験から—○石川 里奈¹⁾，田中 浩二²⁾，長田 恭子²⁾

1) 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻，2) 金沢大学医薬保健研究域保健学系

**P1-05 精神科病院での多様な文化をもつ患者に応じた看護に関するスコーピングレビュー：
移民（外国人）に焦点をあてて**○須田 晶子^{1,2)}，上之門 竜太郎^{1,3)}

1) 日本赤十字看護大学大学院博士後期課程，

2) 株式会社H&H ホールディングス訪問看護ステーションデライト葛飾，

3) 社会福祉法人桜ヶ丘社会事業協会桜ヶ丘記念病院

P1-06 精神科病院における外国人患者への看護の現状○岡田 昌也¹⁾，大達 亮¹⁾，宮田 さおり²⁾，羽生 貞親¹⁾

1) 周南公立大学人間健康科学部看護学科，2) 園田学園大学人間健康学部総合健康学科

P1-07 継続的なグループでの対話における「親亡き前と後のこと」をめぐる語りの変化○石川 かおり¹⁾，藤代 知美²⁾，葛谷 玲子¹⁾，川添 佑莉³⁾

1) 岐阜県立看護大学，2) 四国大学看護学部，3) 株式会社くらしケア

**P1-08 精神科病棟に入院する思春期患者の療養環境に関する主観的印象
— マッピングとインタビューによる検討 —**○伊東 孝織¹⁾，戸川 寛奈¹⁾，和田 加奈子¹⁾，清水 陽平¹⁾，春名 奈央子¹⁾，守村 洋²⁾

1) 医療法人社団五稜会病院，2) 札幌市立大学看護学部看護学科

P1-09 ゲーム障害の子どもを持つ親の心理状態 —インタビューを用いた質的研究—

○テイ ロエイ, 市川 久美子, 加藤 有花, 武用 百子
大阪大学医学系研究科保健学専攻

P1-10 統合失調症患者の幻聴再現 AR 教育教材開発に向けた幻聴内容の文献レビュー

○角田 響介¹⁾, 田中 晴佳¹⁾, 坪井 桂子²⁾, 小川 あい²⁾, 神谷 訓康³⁾, 尾山 匡浩⁴⁾,
田原 熙昂⁴⁾, 藤本 健司⁴⁾
1) 神戸市看護大学看護学部健康生活看護学領域精神看護学分野,
2) 神戸市看護大学看護学部健康生活看護学領域老年看護学分野,
3) 神戸市看護大学専門基礎科学領域健康科学分野, 4) 神戸市立工業高等専門学校電子工学科

P1-11 訪問看護ステーションにおける看護師の役割に関する教科書分析

○山本 勝則, 高橋 正樹, 欠ノ下 郁子
札幌保健医療大学看護学科

P1-12 高次脳機能障害の社会的行動障害における心理社会的支援に関する文献研究

○高橋 夏菜¹⁾, 高田 昭²⁾, 光永 憲香³⁾
1) 医療法人社団脳健会仙台東脳神経外科病院, 2) 東北福祉大学健康科学部保健看護学科,
3) 東北福祉大学健康科学部保健看護学科

P1-13 リカバリー概念に基づく生涯発達の視点から見た AYA 世代精神障がい者の恋愛・結婚観と実態 - 当事者と看護師の語りから -

○多田羅 光美, 佐々木 純子
香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科

P1-14 医療系大学生における睡眠不足と認知的評価およびコーピングとの関連 —対人ストレス場面における場面想定法による検討—

○本間 さくら¹⁾, 新井田 侑亜²⁾, 佐野 心音³⁾, 清水 爽那⁴⁾, 中嶋 七海⁵⁾, 梅林 秀行⁶⁾
1) 小樽掖済会病院, 2) KKR 札幌医療センター, 3) 札幌徳洲会病院, 4) 北海道大学病院,
5) 国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院, 6) 北海道科学大学保健医療学部看護学科

P1-15 精神科病棟に入院している患児への支援に対する困難感と看護援助 —発達障害の特性を持つ患児の自立を支える看護援助—

○櫻本 大器¹⁾, 山本 風紗²⁾, 三浦 愛華³⁾, 大瀧 麻友⁴⁾, 廣永 真悠⁵⁾, 橋本 直弥⁶⁾,
笹木 弘美⁶⁾
1) 社会医療法人医仁会中村記念病院, 2) 湘南美容外科クリニック新宿本院,
3) 独立行政法人地域医療機能推進機構 (JCHO) 北海道病院, 4) 社会医療法人鳩仁会札幌中央病院,
5) 東京女子医科大学病院, 6) 北海道科学大学保健医療学部看護学科

P1-16 発達障害者の就労における対人経験構造の探索的研究

○上田 智之¹⁾, 下條 三和²⁾, 緒方 浩志¹⁾, 西森 直美¹⁾, 清永 麻子¹⁾, 木村 涼平³⁾
1) 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科, 2) 帝京大学福岡医療技術学部看護学科,
3) 日本赤十字九州国際看護大学

P1-17 子を持つ精神障がい者の育児の経験

○樽見 茉優, 日野 雅洋
島根県立大学看護栄養学部看護学科

P1-18 チベットの瞑想による身体的・精神的健康への効果と活用方法に関する文献検討

○松浦 彩美
東京慈恵会医科大学

7月18日(土) 15:00~16:00

第5会場(研修室 401)

一般演題 示説(ポスター発表②)

**P2-01 精神科多職種連携における問題の経験・解消状況の特徴
—問題タイプ別比較と工夫の実施レベルからの検討—**

○異儀田 はづき¹⁾, 富樫 剛清²⁾, 飯塚 あつ子³⁾, 齋藤 直美⁴⁾
1) 帝京大学医療技術学部看護学科、立正大学大学院心理学研究科,
2) 医療法人社団積信会長谷川病院, 3) 訪問看護ステーション保木間, 4) 東京女子医科大学看護学部

**P2-02 看護職員のワーク・エンゲイジメントと職場の組織的公正および心理的安全性の
関連職場継続意志および職能継続意志に及ぼす影響の検討**

○高谷 新¹⁾, 安保 寛明¹⁾, 佐藤 大輔²⁾, 新宮 洋之^{3,4)}
1) 山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科, 2) 東北文化学園大学医療福祉学部看護学科,
3) 山形県立保健医療大学保健医療学研究科博士後期課程, 4) いちまる訪問看護ステーション

**P2-03 短縮化された精神看護学実習で精神科病院の実習指導者が学生に提供したいと
思っている学び**

○茅根 寛子, 渡辺 純一
公益財団法人井之頭病院

P2-04 精神看護学学内演習において実習指導者が模擬患者を務めるロールプレイの実践

○猪股 祥子, 高山 新吾
日本赤十字東北看護大学看護学部看護学科

**P2-05 看護基礎教育における精神科コミュニケーション教育に関する国内研究の動向
—教育実践と学習成果に関する文献検討—**

○田辺 大介
東京工科大学医療保健学部看護学科

P2-06 精神科看護師の心理的安全性の傾向と関連因子の探索—個人要因に着目して—

○関口 瑛里, 船越 明子
神戸市看護大学看護学部

P2-07 精神科看護基礎教育におけるグループ評価と潜在的バイアス・ネガティブ ケイパビリティとの関連：当事者参画型研究

○木下 愛未¹⁾，山田 悠平²⁾，相良 真央²⁾，下里 誠二¹⁾

1) 信州大学医学部保健学科看護学専攻，2) 一般社団法人精神障害当事者会ポルケ

P2-08 箱庭演習が促す学びの質的検討—導入初年度と5年後の学生レポートの比較分析—

○差波 やよい¹⁾，菅野 朱美²⁾，大宮 秀淑³⁾

1) 札幌看護医療専門学校看護学科，2) 北海道医療大学看護福祉学部看護学科，

3) 札幌学院大学心理学部心理学科大学院臨床心理学研究科

P2-09 病院が行う精神看護学実習教員と実習指導者との懇談会の実際

○渡辺 純一

公益財団法人井之頭病院

P2-10 精神看護学実習のシラバスにみる教育方法・内容およびコプロダクション実践に関する 教育の実態

○関本 朋子

東京有明医療大学

P2-11 看護師のワーク・エンゲイジメント向上に関連する要因に関する文献レビュー

○田中 規博¹⁾，上田 智之²⁾

1) 地方独立行政法人くまもと県北病院看護部，2) 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科

P2-12 日本の精神看護実践における「感情」概念の扱われ方に関するレビュー

○松浦 佳代¹⁾，宮本 晶²⁾，高橋 美穂子³⁾

1) 国立看護大学校，2) 医療法人愛精会あいせい紀年病院，

3) 一般財団法人精神医学研究所附属東京武蔵野病院

P2-13 精神科病棟における男性看護師の役割期待と危機対応業務の固定化： 負担と専門性をめぐる国内原著ナラティブレビュー

○相馬 卓弥

医療法人北仁会旭山病院

P2-14 精神科看護職者の虐待行為の認識と倫理的感受性および倫理的風土との関連

○松谷 大，伊藤 治幸

天使大学大学院看護栄養学研究科

P2-15 精神科長期入院病棟で働く看護師の経験に関する文献のスコーピングレビュー

○川添 美花^{1,2)}，武井 麻子³⁾

1) 東京都立大学，2) 京都看護大学大学院看護学研究科博士後期課程，3) 京都看護大学大学院

**P2-16 患者への不適切行為に関する架空事例の教材を用いた看護学生の学びの分析
—精神障害者への虐待防止に向けた教育の検討—**

○吉田 麻美, 手嶋 大喜, 三木 明子, 的場 圭, 矢山 壮
関西医科大学看護学部

P2-17 精神科病院における反復型感情マネジメント教育の効果

○田辺 有理子
横浜市立大学医学部看護学科

P2-18 日本の看護系大学におけるトラウマインフォームドケアの教授実態

○緒方 浩志¹⁾, 上田 智之¹⁾, 西森 直美¹⁾, 木村 涼平²⁾, 陶山 克洋³⁾
1)九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科, 2)日本赤十字九州国際看護大学看護学部看護学科,
3)湘南医療大学保健医療学部看護学科

7月19日(日) 10:30~11:30

第5会場(研修室401)

一般演題 示説(ポスター発表③)

P3-01 自死をめぐる地域住民の認識—沖縄県北部における面接調査からの質的考察—

○鈴木 啓子¹⁾, 村上 満子²⁾
1)名桜大学大学院看護学研究科, 2)名桜大学人間健康学部看護学科

**P3-02 長期入院していた精神障がい者が地域生活に移行する動機づけになったと看護師が
捉える支援内容に関する文献検討**

○川内 健三, 岩佐 拓哉, 齋藤 麻子, 伊関 敏男
東京家政大学

P3-03 精神科病院によるアウトリーチの有効性の検討:パイロットスタディ

○石井 あずさ¹⁾, 富樫 剛清²⁾, 小田桐 隆²⁾
1)元筑波大学大学院人間総合科学研究群, 2)碧水会長谷川病院

**P3-04 AIで精神症状のある人を再現したアプリを用いたコミュニケーション演習が学生の
不安や自信へ及ぼす影響:無作為化比較試験**

○坂田 正治¹⁾, 木戸 芳史²⁾, 田上 博喜²⁾, 増田 郁美²⁾, 矢野 裕佳子⁴⁾, 窪 恵子⁴⁾,
市川 綾乃⁵⁾
1)相山女学園大学看護学部看護学科, 2)浜松医科大学医学部臨床看護学講座,
3)宮崎大学医学部看護学科, 4)宮崎大学大学院看護学研究科, 5)浜松医科大学医学部附属病院

P3-05 地域生活を継続しているうつ病または双極症をもつ人のセルフヘルプグループの有用性

○安達 寛人¹⁾, 長谷川 雅美²⁾
1)富山大学附属病院, 2)富山福祉短期大学

P3-06 北海道内の訪問看護ステーションにおける精神障害者を対象とした食支援に関する実態調査（第1報）

○欠ノ下 郁子¹⁾，高橋 正樹¹⁾，山本 勝則¹⁾，川口 美喜子²⁾

1) 札幌保健医療大学看護学科，2) 札幌保健医療大学栄養学科

P3-07 北海道内の訪問看護ステーションにおける精神障害者を対象とした食支援に関する実態調査（第2報）

○高橋 正樹¹⁾，欠ノ下 郁子¹⁾，山本 勝則¹⁾，川口 美喜子²⁾

1) 札幌保健医療大学看護学科，2) 札幌保健医療大学栄養学科

P3-08 精神疾患をもつ母親への地域支援における精神科訪問看護師の役割 — 助産師との協働の有無に着目した質的分析 —

○林 裕子¹⁾，草野 知美²⁾，梅林 秀行³⁾

1) 天使大学大学院看護栄養学研究科看護学専攻，2) 天使大学看護栄養学部看護学科，

3) 北海道科学大学保健医療学部看護学科

P3-09 DPAT における看護師の活動への期待と課題の文献検討

○御手洗 みどり¹⁾，猪狩 崇²⁾，吹上 大祐³⁾

1) 福岡女学院看護大学，2) 福岡県立大学，3) 宮崎県立延岡病院

P3-10 長期精神科入院患者の退院と地域移行：サービス利用者とソーシャルワーカーの視点

○谷本 千恵，船山 健二

公立大学法人新潟県立看護大学

P3-11 精神科訪問看護における地域の関係機関との連携 ～事例に基づくケアマネジメントの実態～

○船越 明子¹⁾，宮本 有紀²⁾，瀬戸屋 希³⁾，森 真喜子⁴⁾，木戸 芳史⁵⁾，松井 芽衣子⁶⁾，
森田 康子³⁾，高橋 妙理³⁾，青木 裕見³⁾，小泉 快³⁾，萱間 真美⁴⁾

1) 神戸市看護大学，2) 東京大学大学院，3) 聖路加国際大学，4) 国立看護大学校，5) 浜松医科大学，

6) 大阪成蹊大学

P3-12 精神障がいの回復段階において当事者が Well-being をとらえるための対話手法の研究 —イラストを用いた対話支援手法の提案と専門家による評価—

○嶋 彩花，渋谷 潮，足利 えりか，深山 篤

NTT 株式会社社会情報研究所 Well-being 研究プロジェクト

P3-13 精神障害者への虐待に関する架空事例の教材を用いた看護学生の学びの分析 —虐待防止に対する認識の変化と虐待防止対策—

○手寫 大喜，吉田 麻美，三木 明子，的場 圭，矢山 壮

関西医科大学看護学部

P3-14 訪問看護師のリカバリー志向の態度に関連する要因 —リカバリーに関する知識、および精神科訪問看護実践・学習状況に着目して—

○鈴木 龍生^{1,2)}、石川 武雅³⁾、高島 佳之⁴⁾、松村 麻衣子⁵⁾

- 1) 山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科、2) 株式会社FAB3 いちまる訪問看護ステーション、
3) テキックス株式会社なな一訪問看護デベロップメントセンター、
4) 奈良県立医科大学医学部看護学科、5) 大阪信愛学院大学看護学部看護学科

P3-15 地域で生活する統合失調症患者の Resilience に影響を及ぼす要因の構造的分析

○中村 博文¹⁾、渡辺 尚子²⁾

- 1) 茨城県立医療大学保健医療学部看護学科、2) 東邦大学健康科学部看護学科

P3-16 精神科訪問看護におけるリフレクティング・プロセスを用いた対話実践に関する研究 —第1報—

○西池 絵衣子¹⁾、末安 民生²⁾

- 1) 兵庫県立大学看護学部、2) 佛教大学看護学部

P3-17 看護における否定的感情のポジティブ活用に関する研究 —看護学生のインタビュー調査を通して—

○熊地 美枝、高崎 邦子、遠藤 太

岩手医科大学看護学部

P3-18 コミュニケーションロボットを精神障がい者のリカバリーに活用する意義 —CHIME モデルを用いた分析—

○鈴木 俊美

東邦大学健康科学部看護学科

7月19日(日) 12:50~13:50

第5会場(研修室401)

一般演題 示説(ポスター発表④)

P4-01 心因性健忘を伴う精神科入院患者に対する CBT 的看護介入 —患者主体の回復に着目した一事例—

○小島 拓治¹⁾、川村 晃右²⁾

- 1) 国保野上厚生総合病院、2) 京都橘大学

P4-02 一般科病床において被暴力体験をした看護師の心理的反応に関する文献レビュー

○上野 紗英¹⁾、寺岡 征太郎²⁾

- 1) 帝京大学大学院医療技術学研究科看護学専攻博士前期課程、
2) 帝京大学医療技術学部看護学科精神看護学

P4-03 アルコール依存症者が人生を再構築する主観的体験に関する文献検討

○穴戸 哲平¹⁾、寺岡 征太郎²⁾

- 1) 帝京大学大学院医療技術学研究科看護学専攻博士前期課程 CNS コース、
2) 帝京大学医療技術学部看護学科

P4-04 国内におけるトラウマインフォームドケアの教育効果およびアウトカムの実情 — 国内文献によるスコーピングレビュー —

○佐藤 大輔¹⁾, 田邊 友也²⁾, 若山 仁大³⁾

- 1) 東北文化学園大学医療福祉学部看護学科,
- 2) 特定非営利活動法人精神医療サポートセンター訪問看護ステーションいしずえ,
- 3) 特定非営利活動法人精神医療サポートセンター訪問看護ステーションいしずえ町田

P4-05 大学生のアルコール依存症リスクと対人関係の関連について

○小川 佳菜子¹⁾, 岡崎 由夏²⁾, 松尾 和香³⁾, 高尾 くるみ¹⁾, 田島 杏子⁴⁾, 岳 こなみ⁵⁾, 永江 誠治⁵⁾

- 1) 長崎大学病院, 2) 京都大学医学部附属病院, 3) 順天堂大学附属浦安病院,
- 4) 肥前精神医療センター, 5) 長崎大学生命医科学域 (保健学系)

P4-06 COVID-19 禍での総合病院で働くリエゾン精神看護専門看護師の経験

○小山 達也

東京医科大学医学部看護学科

P4-07 精神科未治療・治療中断の状態から受療および受療の継続に至った人の交渉のプロセスにおける経験

○藤代 知美¹⁾, 田井 雅子²⁾, 野嶋 佐由美³⁾, 畦地 博子²⁾, 森下 幸子²⁾, 塩見 理香²⁾, 高橋 真紀子⁴⁾, 池内 香²⁾

- 1) 四国大学看護学部, 2) 高知県立大学, 3) 高知県立大学名誉教授, 4) 高知学園短期大学

P4-08 刑事責任能力鑑定入院における看護師の看護実践についての実態調査

○兒玉 善明^{1,2)}, 中井 理賀¹⁾, 河村 諒¹⁾, 加藤 宏公¹⁾, 山田 浩雅¹⁾

- 1) 愛知県立大学看護学部, 2) 愛知県立大学大学院看護学研究科博士後期課程

P4-09 精神科救急事態における看護師の臨床判断の概念分析 —国内文献と海外文献の比較—

○青木彩香^{1,2)}, 加藤木真史¹⁾, 水戸優子¹⁾

- 1) 神奈川県立保健福祉大学大学院 保健福祉学研究科, 2) 金沢文庫エールクリニック

P4-10 専門性の高い精神科看護師が外来で行っている看護実践の特徴

○畠山 卓也¹⁾, 浅沼 瞳²⁾, 則村 良³⁾, 三井 督子⁴⁾, 西池 絵衣子⁵⁾, 池内 香¹⁾, 田井 雅子¹⁾, 竹林 令子⁶⁾, 岡 京子⁷⁾, 小山 達也⁸⁾, 渡辺 純一⁹⁾

- 1) 高知県立大学看護学部, 2) 昭和医科大学保健医療学部看護学科, 3) 医療法人財団青溪会駒木野病院,
- 4) 京都大学大学院医学研究科, 5) 兵庫県立大学看護学部, 6) 杏林大学保健学部看護学科,
- 7) 駒沢女子大学看護学部, 8) 聖路加国際大学大学院看護学研究科, 9) 公益財団法人井之頭病院

P4-11 身体的拘束について倫理的ジレンマを抱えている精神科看護師への支援における精神看護専門看護師の思考

○千嶋 海里¹⁾, 守村 洋²⁾, 渋谷 友紀²⁾

- 1) さっぽろ香雪病院, 2) 札幌市立大学大学院看護学研究科博士前期課程精神看護学領域 CNS コース

P4-12 精神科看護師が患者から暴力を受けた経験のプロセスに関する研究

○畑井 亮平, 川添 郁夫
青森中央学院大学看護学部

P4-13 日本の精神保健医療制度における非自発的入院に関する看護のスコーピングレビュー

○上之門 竜太郎^{1,2)}, 須田 晶子^{1,3)}
1) 日本赤十字看護大学大学院博士後期課程, 2) 社会福祉法人桜ヶ丘社会事業協会桜ヶ丘記念病院,
3) 株式会社H&H ホールディングス訪問看護ステーションデライト葛飾

P4-14 熟練の専門家によるアルコール関連問題をもつ人への相談対応に関する質的記述的研究

○伊藤 桂子, 後藤 喜広
東邦大学看護学部

P4-15 身体拘束最小化を支援する ICU における看護師介入の特性：スコーピングレビュー

○佐藤 このみ^{1,2)}, 大石 麻紀^{2,3)}, 福島 鏡²⁾, 青木 裕見⁴⁾
1) 大崎市民病院, 2) 聖路加国際大学大学院博士後期課程, 3) 聖マリアンナ医科大学病院,
4) 聖路加国際大学

**P4-16 統合失調症急性期症状を呈し自殺企図に至った重症外傷患者への看護実践
ー主体的治療参加を支えた精神看護とリカバリーの視点ー**

○中村 祐美子
神戸市立医療センター中央市民病院

P4-17 精神科リエゾンチームに従事する精神看護専門看護師の活動

○櫻沢 早人子
前橋赤十字病院看護部精神科リエゾン室

P4-18 当事者参画型心理教育の実践 ー浦河べてるの家における共同創造の試みー

○中村 創
トキノ株式会社

日本精神保健看護学会学術集会 企画一覧

	テーマ	期間	場所	企画
第1回	いま、なぜ精神看護学なのか	1991.7.6～ 7.7	日本赤十字看護大学	対談：「いま、なぜ精神看護学なのか」 稲岡文昭（日本赤十字看護大学） 南裕子（聖路加看護大学） シンポジウム：精神看護学への期待
第2回	精神看護の未来と現実	1992.7.4～ 7.5	日本赤十字看護大学	講演：「心の健康に援助する人のメンタルヘルス」 稲岡文昭（日本赤十字看護大学） シンポジウム：精神看護の過去・現在・未来
第3回	精神看護とチーム医療	1993.7.3～ 7.4	日本赤十字看護大学	講演：「看護におけるチーム・ワーク」 鈴木純一（海上療養所院長） シンポジウム：精神医療におけるチームアプローチ -他職種と看護の接点を探る-
第4回	精神看護と患者の意思決定	1994.7.2～ 7.3	日本赤十字看護大学	講演：「精神病者の自己決定なしで人権擁護は存在しない」 小林信子（東京精神人権センター） シンポジウム：患者の意思決定を支える看護とは -患者の自立・看護の自立を考える-
第5回	精神看護の専門性を問う	1995.7.1～ 7.2	北里大学看護学部	講演：「精神看護の専門性を問う」 柴田恭亮（西南女学院短大 保健福祉学部看護学科） シンポジウム：精神科看護の危機-精神保健・ 福祉サービスの統合をめざして
第6回	続・精神科看護の専門性を問う	1996.7.6～ 7.7	北里大学看護学部 （総括責任：池田明子）	講演：「ケアの時代に求められる看護婦の能力」 外口玉子（地域ケア福祉センター「かがやき会」 理事長） シンポジウム：生活の場で患者を支える実践を通して
第7回	精神看護領域における臨床教育 -基礎教育から卒後教育への継続 性-	1997.7.5～ 7.6	聖路加看護大学 （総括責任：池田明子）	講演：「精神看護における臨床教育」 池田明子（北里大学看護学部） シンポジウム：基礎教育から卒後教育への継続性
第8回	急性期ケアのジレンマ -人権の保障と最小限の拘束-	1998.6.6～ 6.7	聖路加看護大学 （企画委員長：羽山由美子）	講演：「急性期ケアのジレンマ」-人権の保障と最小限の拘束- 精神科臨床における倫理上の諸問題：意志決定に関連して Lucy Fisher RN.MS (Educational Director of the San Francisco Mental Health Rehabilitation Facility) シンポジウム：急性期ケアのジレンマ -人権の保障と最小限の拘束-
第9回	精神科長期在院患者の看護ケア へのチャレンジと資源開発	1999.5.29～ 5.30	聖路加看護大学 （企画委員長：羽山由美子）	講演：「フィンランドにおける精神科慢性患者の看護ケア」 Maritta Valimaki, PhD, RN (University of Turku, Dept of Nursing, Finland) シンポジウム：精神科長期在院患者の患者ケアへのチャ レンジと資源開発
第10回	看護理論とその精神科実践への 適応	2000.6.3～ 6.4	福島県立医科大学 看護学部 （企画委員長：中山洋子）	講演1：「セルフケアモデルと日本の精神科看護実践への 適用」 Patricia Underwood PhD, RN(兵庫県立看護 大学) ケースプレゼンテーション 事例提供：池田由利子・遠藤都子（竹田総合病院） 大川貴子（福島県立医科大学） コメンテーター：Patricia Underwood（兵庫県立看護 大学） 講演2：「人間関係の理論と精神科看護実践」 Philip J Barker PhD, RN (University of Newcastle)
第11回	「リエゾン精神看護」 -その学識的基盤と実践-	2001.6.2～ 6.3	東京女子医科大学 （大会長：田中美恵子）	講演：「リエゾン精神看護」-その学識的基盤と実践- Pamela A, Minarik RN.MS.FAAN（エール大学） 川名典子（聖路加国際病院） シンポジウム：日本におけるリエゾン精神看護の可能性

第12回	精神病院文化と看護者のかかわり	2002.6.1～ 6.2	日本赤十字広島看護大学 (大会長：柴田恭亮)	講演：「ヘルスケア環境の変化と精神看護の実践」 W.Pearl, Washington RN MBA MSN. シンポジウム：精神科看護の常識と非常識
第13回	精神科看護の経験	2003.5.31～ 6.1	都市センターホテル (日本赤十字看護大学) (大会長：武井麻子)	講演1：「仕事、それとも愛情？」 -社会学者からみたケアの現在- 春日キスヨ(安田女子大学) 講演2：「感性を磨く技法」 宮本真巳(東京医科歯科大学) シンポジウム：「越境する看護」-精神科ナースの経験-
第14回	精神看護の近未来 ～二極化現象を越えて～	2004.6.12～ 6.13	朱鷺メッセ (新潟青陵大学) (大会長：藤野ヤヨイ)	講演：「精神看護の近未来」～二極化現象を越えて～ 阿保順子(北海道医療大学) シンポジウム：教育と臨床のコラボレーション
第15回	変容する精神保健問題への看護 職のチャレンジ ～医療・司法・ 看護の重なりの中～	2005.6.4～ 6.5	北海道立道民活動 センター(かでの2・7) (大会長：阿保順子)	講演：「ボーダレス社会での看護の行方」 粕田孝行(高知女子大学) シンポジウム：うつ時代-社会の読み解きと看護実践 の手がかり-
第16回	変貌する精神保健看護のゆくえ ～病院と地域ケアの重なりとす き間～	2006.6.17～ 6.18	栃木県 自治医科大学 看護学会および地域医療 情報センター (大会長：永井優子)	講演：「“あたりまえ”を当たり前？ 精神保健看護専門 職の役割を問う？」 中山洋子(福島県立医科大学看護学部 学部長) シンポジウム：人と病院、地域、法とのつながりとはざ ま～ケアの可能性を探る～
第17回	いま、改めて精神看護を考える	2007.6.9～ 6.10	神奈川県 北里大学L3号館 (大会長：出口禎子)	講演：「日本精神保健看護学会の方向性を問う ～本学会の16年間の歩みを振り返って～」 池田明子(北里大学名誉教授) シンポジウム：私の精神看護を支えるもの・阻むもの
第18回	精神看護における倫理 臨床倫理と権利擁護	2008.6.21～ 6.22	東京女子医科大学 (大会長：田中美恵子)	大会長講演：「精神看護と臨床倫理」 田中美恵子(東京女子医科大学) 基調講演：「精神看護における倫理と権利擁護」 ダグラス P. オルセン(エール大学) シンポジウム：精神看護の臨床倫理と権利擁護
第19回	精神看護実践における看護師の 役割拡大	2009.6.20～ 6.21	慶應義塾大学 看護医療学部 (大会長：野末聖香)	大会長講演：「精神看護実践における看護師の役割拡大 ー担うべき役割と方向性ー」 野末聖香(慶應義塾大学) 基調講演：「Expanding the role of psychiatric & mental health nurses-processes, achievement & challenges」 Susan M. Adams, PhD, RN, PNHNP, FAANP (Vanderbilt University School of Nursing) シンポジウム：精神看護分野における看護師のチャレンジ ー役割拡大を目指してー
第20回	精神看護のアウトカム ー測れるもの・測れないものー	2010.6.19～ 6.20	東京都 聖路加看護大学 (大会長：菅間真美)	大会長講演「精神看護のアウトカム」 菅間真美(聖路加看護大学看護学部教授) 基調講演：「Evaluation of Outcomes in Psychiatric Nursing Practice」Dr. Richard Yakimo (University of Missouri-St. Louis College of Nursing) シンポジウム：精神看護のアウトカム ー測れるもの・測れないものー
第21回	精神看護の先進的実践を求めて	2011.6.18～ 6.19	愛知県産業労働センター (名古屋駅前： ウインクあいち) (学術集会長：岩瀬信夫)	大会長講演：「精神看護の先進的実践を求めて： 精神看護の業務拡大と課題」 岩瀬信夫(愛知県立大学看護学部教授) 基調講演：「Role Development & Education of the Psychiatric Advanced Practice Registered Nurse」 Dr.Bethany Phoenix (カリフォルニア大学サンフランシスコ校看 護学研究科 准教授) シンポジウム：精神看護の先進的実践を求めて： 精神看護の専門性と看護業務の拡大の あり方に焦点をあてて

第22回	根拠に基づく精神看護の実践 ～患者・家族の体験及び研究を 統合した先駆的看護実践～	2012.6.23～ 6.24	市民会館崇城大学ホール (熊本市市民会館) 熊本市国際交流会館 (ワークショップと演題発 表) (大会長：宇佐美しおり)	大会長講演：「根拠に基づく精神看護の実践－患者・家族 の体験、先駆的看護実践と研究の統合－」 宇佐美しおり（熊本大学大学院生命科学研究 部 精神看護学 教授・精神看護CNS） 基調講演：「Evidence-Based Psychiatric Nursing for Community-Based Patients： Behavioral Management of Auditory Hallucinations」(精神障害者の地域生活 を促進するための根拠に基づく看護－幻聴 の行動マネジメントプログラム－) Dr.Robin Buccheri (RN, MHNP, DNSc, FAAN, Professor, University of San Francisco, School of Nursing) Dr.Louise Traygstad (RN, CNS, DNSc, Professor Emerita in the School of Nursing, USF) シンポジウム：精神看護における患者・家族の体験、先駆 的看護実践と研究の統合
第23回	精神看護の原点－叡智の伝承－	2013.6.15 ～6.16	京都テルサ (大会長：北島謙吾)	大会長講演：「臨地・教育から学んだ精神看護の原点と叡智」 北島謙吾（京都府立医科大学医学部看護学科） 基調講演：精神看護の原点－変わっていくもの、変わっ てはならないもの－ 坂田三分（多摩おおば病院） シンポジウム：精神看護の原点－臨床・研究・地域の叡智 を伝承する－
第24回	嗜癪を知って看護に活かす －精神保健看護とアディクション 問題－	2014.6.21 ～6.22	横浜市立大学 金沢八景キャンパス (大会長：松下年子)	大会長講演：「嗜癪を知って看護に活かす－精神保健看護 とアディクション問題－」 松下年子（横浜市立大学大学院医学研究科 看護学専攻） 基調講演：アディクション問題を含めた精神保健医療に おける高度実践看護の実践と展望 Diane Snow (The University of Texas at Arlington College of Nursing, Professor, NP) シンポジウム：精神保健看護における先駆的実践と将来 展望
第25回	新たな精神保健看護の開発を求 めて	2015.6.27 ～6.28	つくば国際会議場 (大会長：森千鶴)	大会長講演：「精神看護の新たな援助の開発を求めて－ その人らしく生きることを支援するために－」 森千鶴（筑波大学大学院） 法人化記念対談：これからの精神保健看護を支える学会 への期待 池田明子（北里大学名誉教授、社会福 祉法人らっく理事） 武井麻子（日本赤十字看護大学名誉教授） シンポジウム：質の高い看護実践を目指した新たな取り 組み
第26回	こころと身体と社会を紡ぐ精神 保健看護	2016.7.2 ～7.3	びわ湖ホール・ ピアザ淡海 (大会長代行：田上美千佳)	理事会企画：「論文投稿時の研究者ルール」 岡田佳詠（筑波大学大学院） 基調講演：「災害からの復興と心のケア－新たなパラダイ ムの予知」 南裕子（高知県立大学） シンポジウム：こころと身体と社会を紡ぐ看護の今とこ れから
第27回	“語り”の後の精神保健看護を語 り合う ～試される未来へ向けて～	2017.6.24 ～6.25	札幌市教育文化会館 (大会長：吉野淳一)	大会長講演：「語りの後の精神保健看護を語り合う ～私のナラティブ・ターン～」 吉野淳一（札幌医科大学） 教育講演：「精神科看護は当事者の言葉からはじまる －ストレングスモデル・質的研究における当事 者の言葉のチカラ」 萱間真美（聖路加国際大学） 対話シンポジウム：語り合う当事者・看護者 ～試される未来へ向けて～

第28回	共生社会をひらく 精神保健看護の力 ー語る力 受ける力 つくる力ー	2018.6.23 ～6.24	国立看護大学校 (学術集会会長：森真喜子)	学術集会会長講演：「共生社会をひらく 精神保健看護の可能性」 森真喜子（国立看護大学校） 教育講演：「浜松市でのNPO法人E-JAN、20年の取り組みー問と解の螺旋から共生社会を考える」 大場義貴（聖隷クリストファー大学） 特別講演：「精神医療従事者と利用者との関係性の再考ーアウトリーチサービス、共同意思決定の実践などからの考察」 伊藤順一郎（メンタルヘルス診療所しっぽふぁーれ） 市民公開講座：親が精神障がいを抱えている子供たちを絵本を通して応援する
第29回	当事者・家族・支援者を結ぶ 精神保健看護の理論と実践 ～私たちは声をきけているか？～	2019.6.8 ～6.9	ウインクあいち (学術集会会長：香月富士日)	学術集会会長講演：「家族ケアの実践とエビデンス」 香月富士日（名古屋市立大学） 教育講演：「精神疾患をもつ人を支える包括的ケア」 大島巖（日本社会事業大学 教授 地域精神保健福祉機構COMHBO代表理事） シンポジウム：リカバリーを目指す支援 ～家族ケアの重要性～ 市民公開講座：マインドフルネスと臨床瞑想法
第30回	地域移行支援の哲学 ～政策と実践への具現化 (embodiment) ～	2020.6.13 ～6.14	オンライン開催 (学術集会会長：白石裕子)	会長講演：地域移行支援の哲学ー政策と実践への具現化 (embodiment) ー 白石裕子（国際医療福祉大学福岡看護学部） 教育講演：「伴走型支援と問題解決型支援ー看護はハイブリッドモデルで」 萱間真美（聖路加国際大学） 「自尊心回復グループセラピーにみるリカバリー」 國方弘子（香川県立保健医療大学） 「『ベネフィット・ファインディング』ー概念をどのように看護に生かせるか」 千葉理恵（神戸大学大学院） 「精神看護における認知行動療法を再考する：看護師でもできること、看護師だからできること」 吉永尚紀（宮崎大学）
第31回	精神保健の時代をひらく共創造	会期： 2021.6.5 ～6.6 WEB開催期間： 2021.5.25.～ 6.25	オンラインによる ライブ配信 (配信会場：山形テルサ) (学術集会会長：安保寛明) (学術集会副会長：阿彦忠之)	学術集会会長講演：「精神保健の時代をひらく共創造」 演者：安保寛明（山形県立保健医療大学） 座長：萱間真美（聖路加国際大学）
第32回	精神保健における精神看護の責務～Withコロナの中でのチャレンジ～	2022.6.4 ～6.5	武蔵野大学有明キャンパス (ライブ配信会場) (学術集会会長：荻野雅)	会長講演：「精神保健における精神看護の責務ーWith コロナの中でのチャレンジ」 演者：荻野雅（武蔵野大学） 座長：安保寛明（山形県立保健医療大学）
第33回	精神保健看護がめざす多様性と包摂性の実現に向けて	2023.5.13 ～5.14	神戸国際会議場 (学術集会会長：船越明子)	会長講演：「精神保健看護が目指す多様性と包摂性 ～生きづらさを抱える人たちに何ができるか～」 演者：船越明子 座長：萱間真美
第34回	共に考え、創り、積み上げる	2024.6.1 ～6.2	国際医療福祉大学 成田キャンパス (学術集会会長：岡田佳詠)	会長講演：「共に考え、創り、積み上げる」 演者：岡田佳詠 (国際医療福祉大学 成田看護学部 看護学科 精神看護学) 座長：寺岡征太郎 (帝京大学 医療技術学部看護学科 精神看護学)
第35回	こころのケアのユニバーサル化と安心の考究	2025.5.31 ～6.1	金沢歌劇座 (学術集会会長：田中浩二)	会長講演：「こころのケアのユニバーサル化と安心の考究」 演者：田中浩二（金沢大学医薬保健研究域保健学系） 座長：長谷川雅美（富山福祉短期大学）

一般社団法人日本精神保健看護学会

第7期役員

(任期：2025年5月30日～2027年定時代議員会終了)

理事長	武 用 百 子	大阪大学
副理事長	田 上 美千佳	千葉大学
理 事	木 戸 芳 史	浜松医科大学
	柴 田 真 紀	北里大学
	瀬 戸 屋 希	聖路加国際大学
	田 中 浩 二	金沢大学
	千 葉 理 恵	京都大学
	船 越 明 子	神戸市看護大学
	森 真喜子	国立看護大学校
	守 村 洋	札幌市立大学
	則 村 良	医療法人財団青溪会 駒木野病院
	横 山 恵 子	横浜創英大学
指名理事	吉 永 尚 紀	宮崎大学
	松村 麻衣子	大阪信愛学院大学
	的 場 圭	近畿大学
監 事	中 山 洋 子	文京学院大学
	濱 田 由 紀	東京女子医科大学

(所属 2026 年 7 月現在、五十音順)

一般社団法人日本精神保健看護学会

第5期代議員

(任期：2025年5月30日～2027年定時代議員会終了)

北海道・東北地区	明 間 正 人	医療法人昨雲会 飯塚病院
	笹 木 弘 美	北海道科学大学
	高 谷 新	山形県立保健医療大学
	守 村 洋	札幌市立大学
	米 山 奈 奈 子	秋田大学
関東（除東京） 地区	金 子 眞 理 子	東京慈恵会医科大学
	河 野 伸 子	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院
	吉 川 隆 博	東海大学
	柴 田 真 紀	北里大学
	白 井 教 子	北里大学病院
	瀬 戸 屋 希	聖路加国際大学
	田 辺 有 理 子	横浜市立大学
	田 上 美 千 佳	千葉大学
	水 野 恵 理 子	順天堂大学
	横 山 恵 子	横浜創英大学
東京地区	江 波 戸 和 子	帝京平成大学
	河 野 佐 代 子	慶應義塾大学
	北 野 進	東京都立病院機構 東京都立松沢病院
	則 村 良	医療法人財団青溪会 駒木野病院
	濱 田 由 紀	東京女子医科大学
	松岡（治徳）裕美	東京医科歯科大学医学部附属病院
	森 真 喜 子	国立看護大学校
	山 内 典 子	東京女子医科大学病院
	渡 辺 純 一	公益財団法人 井之頭病院
甲信越・北陸・ 東海地区	石 川 か お り	岐阜県立看護大学
	木 戸 芳 史	浜松医科大学
	木 野 徳 磨	社会医療法人聖泉会 聖十字病院
	桐 山 啓 一 郎	名古屋市立大学
	田 中 浩 二	金沢大学
	中 戸 川 早 苗	北里大学
	長 山 豊	金沢医科大学
	中 山 洋 子	文京学院大学
	服 部 希 恵	日本赤十字社 愛知医療センター名古屋第一病院
近畿地区	千 葉 理 恵	京都大学
	西 池 絵 衣 子	兵庫県立大学
	船 越 明 子	神戸市看護大学
	武 用 百 子	大阪大学
	牧 野 耕 次	滋賀県立大学
	三 井 督 子	京都大学
	山 岡 由 実	大阪医科薬科大学
	矢 山 壮	関西医科大学
中国・四国・九州・ 沖縄・その他地区	青 本 さ と み	九州大学
	池 田 智	第一薬科大学
	中 本 亮	令和健康科学大学
	藤 野 成 美	佐賀大学
	本 武 敏 弘	熊本保健科学大学
	山 下 亜 矢 子	鹿児島大学
	山 本 智 之	くおーれ訪問看護ステーション
	吉 永 尚 紀	宮崎大学
	渡 邊 久 美	香川大学

(所属 2026 年 7 月現在、選出地区別 五十音順)

日本精神保健看護学会 第36回学術集会・総会

企画委員・実行委員・事務局

学術集会長 守村 洋（札幌市立大学）

執行部会

笹木 弘美	北海道科学大学（事務局長）	伊藤 治幸	天使大学（実行委員長）
澤田いずみ	札幌医科大学（企画委員長）	吉野賀寿美	北海道大学（プログラム委員長）

企画委員

相澤 加奈	手稲溪仁会病院	東谷 敬介	札幌市立大学
石川 千恵	mental nursing office まちえーる	欠ノ下郁子	札幌保健医療大学
清永 久子	日本医療大学	鈴木 大輔	医療法人社団 五稜会病院
武田美恵子	日本赤十字社 北見赤十字病院	寺岡征太郎	帝京大学
中安 隆志	北海道医療大学	那須 典政	医療法人五風会 さっぽろ香雪病院
長谷川博亮	旭川医科大学	原田 由香	札幌医科大学
増満 誠	日本赤十字北海道看護大学	宮地 普子	北海道医療大学
村本 好孝	株式会社 ここから	八木こずえ	北海道医療大学
山田 直行	旭川市立大学	結城 佳子	名寄市立大学

事務局

東谷敬介（兼）	札幌市立大学	渋谷 友紀	札幌市立大学
梅林 秀行	北海道科学大学	中西 萌子	北海道科学大学

顧問

阿保 順子	日本精神保健看護学会名誉会員	山本 勝則	札幌保健医療大学
吉野 淳一	北海道家庭総合カウンセリングセンター		

実行委員

新井 守	帝京大学院生	異儀田はづき	帝京大学
石田 亮二	医療法人社団 林下病院	上野 紗英	帝京大学院生
大河内敦子	帝京大学	奥原 真仁	旭川医科大学
神澤 尚利	東京都立大学	草野 知美	天使大学
小堀 昂	北海道大学病院	佐藤 史教	岩手県立大学
重岡 妙	天使大学	穴戸 哲平	帝京大学院生
清水 陽平	医療法人社団 五稜会病院	高桑 真佑	札幌医科大学
高橋 正樹	札幌保健医療大学	千嶋 海里	医療法人五風会 さっぽろ香雪病院
西 将希	帝京大学	橋本 直弥	北海道科学大学
春名奈央子	医療法人社団 五稜会病院	人見 敬子	札幌医科大学附属病院
藤井 大士	特定医療法人朋友会 石金病院	本武 敏弘	熊本保健科学大学
松谷 大	特定医療法人朋友会 石金病院	矢野裕佳子	宮崎大学
山下千絵子	北海道科学大学	山本 幸子	JA 北海道厚生連 帯広厚生病院

運営協力員

池田 靖司	医療法人重仁会 大谷地病院	石山 唯	医療法人社団正心会 岡本病院
伊藤 友美	医療法人社団玄洋会 道央佐藤病院	伊藤 紗織	医療法人社団 五稜会病院
小川 園美	医療法人社団 五稜会病院	北村奈津美	医療法人社団大蔵会 札幌佐藤病院
栗原 憲一	医療法人社団正心会 岡本病院	佐々木由希	医療法人社団玄洋会 道央佐藤病院
荘司 悠希	医療法人社団 五稜会病院	白川 幸子	医療法人社団圭泉会 旭川圭泉会病院
砂盛 徹	医療法人社団玄洋会 道央佐藤病院	関口ゆり恵	特定医療法人社団慶愛会 札幌花園病院
谷藤 伸恵	医療法人耕仁会訪問看護ステーション やまのて	富居 貢	医療法人社団玄洋会 道央佐藤病院
土門 公子	特定医療法人社団慶愛会 札幌花園病院	洞田 龍彦	特定医療法人朋友会 石金病院
中渡 圭太	名寄市立総合病院	中村 圭佐	医療法人社団 林下病院
西村 友一	医療法人社団玄洋会 道央佐藤病院	波川 明嗣	医療法人資生会 千歳病院
早瀬加奈美	札幌医科大学院生	長谷山 遼	医療法人重仁会 大谷地病院
藤島裕希子	医療法人社団玄洋会 道央佐藤病院	樋口 和央	旭川赤十字病院
堀井 翔	医療法人重仁会 大谷地病院	星野美栄子	医療法人社団 五稜会病院
柳原 誠	医療法人社団玄洋会 道央佐藤病院	森下 航平	医療法人社団玄洋会 道央佐藤病院
山北 豊	医療法人社団 五稜会病院	敷内 裕介	医療法人社団 五稜会病院
		山本 麻理	札幌医科大学院生

ボランティア

青木 美香	北海道科学大学	石引かずみ	札幌市立大学
上田 泉	札幌市立大学	岡 園代	札幌市立大学
加藤 依子	札幌市立大学	亀谷 拓也	子ども発達支援センター
川村三希子	札幌市立大学	川村友佳子	札幌市立大学
近藤 圭子	札幌市立大学	澤口 宙人	札幌市立大学
菅原 美樹	札幌市立大学	高橋 奈美	札幌市立大学
原井 美佳	札幌市立大学	二間瀬明子	北海道科学大学
牧野 夏子	札幌市立大学	松浦 有沙	札幌市立大学
三戸部純子	札幌市立大学		

学生ボランティア

浅野とも華	札幌市立大学 大学生	阿部 雛子	北海道科学大学 大学生
池田 七望	札幌市立大学 大学生	石川 七夢	北海道科学大学 大学生
石森 夢	北海道科学大学 大学生	井下 朝翔	北海道科学大学 大学生
今井 楓音	北海道科学大学 大学生	今川ねるは	北海道科学大学 大学生
國分 優汰	北海道科学大学 大学生	近藤 翼	北海道科学大学 大学生
坂井 月渚	北海道科学大学 大学生	笹森 愛美	北海道科学大学 大学生
鈴木優里菜	北海道科学大学 大学生	高橋 優心	北海道科学大学 大学生
田口 俊介	北海道科学大学 大学生	塚原 凜果	札幌市立大学 大学生
津谷 佳輔	札幌市立大学 大学生	徳永 実歩	北海道科学大学 大学生
長井 基	北海道科学大学 専攻科生	難波 陽香	北海道科学大学 大学生
橋本 花鈴	札幌市立大学 専攻科生	林 和琴	北海道科学大学 大学生
坂東 希咲	北海道科学大学 大学生	干川 美里	北海道科学大学 大学生
二川 彩乃	北海道科学大学 大学生	宮澤 怜	北海道科学大学 大学生
森下 瑚都	北海道科学大学 大学生	八嶋 菜月	札幌市立大学 専攻科生
渡部 一哉	北海道科学大学 大学生	渡部 夢雪	北海道科学大学 大学生
渡邊 琴音	北海道科学大学 大学生		

日本精神保健看護学会 第36回学術集会・総会 後 援

札幌市

社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会

NPO法人 札幌市精神障害者家族連合会

一般社団法人 日本精神科看護協会

一般社団法人 日本精神科看護協会北海道支部

公益社団法人 日本精神科病院協会

北海道

公益社団法人 北海道看護協会

公益社団法人 北海道作業療法士会

社会福祉法人 北海道社会福祉協議会

北海道精神科病院協会

一般社団法人 北海道精神障害者家族連合会

一般社団法人 北海道精神神経科診療所協会

北海道精神保健協会

一般社団法人 北海道精神保健福祉士協会

一般社団法人 北海道ピアサポート協会

一般社団法人 北海道臨床心理士会

(五十音順)

日本精神保健看護学会 第36回学術集会・総会 協賛企業・団体一覧

■ランチョンセミナー協賛

ヴィアトリス製薬合同会社
医療法人勉仁会 中垣病院
NPO精神医療サポートセンター・
訪問看護ステーションいしずえ
精神医療サポートセンターホールディングス
株式会社
株式会社ここから
三昌商事株式会社
塩野義製薬株式会社

■賛助金

医療法人社団 五稜会病院
医療法人社団圭泉会 旭川圭泉会病院
医療法人社団五風会 さっぽろ香雪病院
医療法人社団 心優会 中江病院
医療法人勉仁会 中垣病院
マイボイスコム株式会社
特定医療法人さっぽろ悠心の郷 ときわ病院
特定医療法人社団慶愛会 札幌花園病院
訪問看護ばるもい'sステーション
株式会社Link with 訪問看護ステーション Wing
医療法人社団大蔵会 札幌佐藤病院
医療法人社団 正心会 岡本病院
医療法人 啓生会病院
特定非営利活動法人 きなはれ
特定医療法人朋友会 石金病院
医療法人社団玄洋会 道央佐藤病院
医療法人重仁会 大谷地病院
ニコロ訪問看護ステーション
株式会社ウェルアス
社会医療法人友愛会 恵愛病院
株式会社町コム 訪問看護・リハビリテーション
センターななかまど中央
大王製紙株式会社

■バナー広告掲載

ケアプロ株式会社
マイボイスコム株式会社

■広告掲載

中央法規出版株式会社
医療法人社団 五風会 さっぽろ香雪病院
株式会社医学書院
株式会社医学映像教育センター
北海道科学大学
株式会社メチカルフレンド社
住友ファーマ株式会社
日本ストライカー株式会社
ニプロ株式会社
パラマウントベッド株式会社

■企業展示

エーザイ株式会社
エコナビスタ株式会社
三昌商事株式会社

■市民公開イベント協力

いちょうの会
エンターテインメントアカデミー でじるみ札幌中央
ぐろーあっぷベース恵み野
社会福祉法人 浦河べてるの家
就労移行支援マイ・スタイル元町
就労継続支援事業所双葉
就労継続支援B型事業所 おりなす
ソエル
特定非営利活動法人きなはれ
トラヴァイユ・それいゆ

■提供

株式会社明治

(順不同 2026年7月現在)

日本精神保健看護学会第36回学術集会・総会の運営にあたり、上記の企業・団体の皆様より協賛いただきました。

日本精神保健看護学会第36回学術集会・総会
会長 守村 洋

日本精神保健看護学会 第36回学術集会・総会 プログラム・抄録集

発行 2026年7月
編集 日本精神保健看護学会第36回学術集会企画委員会
発行責任者 日本精神保健看護学会第36回学術集会
学術集会会長 守村 洋
札幌市立大学
〒060-0011 札幌市中央区北11条西13丁目
